

### 3 地域資源活用方策調査及び検討（「下北かるた」の有効活用策の提案の事例検討）

#### 1) 新しい観光モデルコースの提案（下北かるたラリー）

##### 実施計画

##### ) 実施体制

主催：むつ青年会議所 担当者：三国 渉（前理事長）

青森県（下北地域県民局地域連携部地域支援室） 担当者：富谷 正行

国土交通省東北地方整備局

##### ) 実施目的

- ・地域の自然・文化・歴史等の地域資源が集約されている44枚の「下北かるた」を活用した地域活性化へむけて、下北かるた巡りモデルツアー・マップの作成、下北かるた巡りモデルツアーの実証実験の実施、にモデル的に取り組む。

##### ) 実施方法・内容（案）

下北かるた巡りモデルツアー・マップの作成

- ・44枚ある「下北かるた」に関する観光拠点をつなぐモデル的なツアーコースを設定し、下北かるた巡りモデルツアー・マップを作成する。
- ・「下北かるた巡りモデルツアー・マップ（平成19年度調査用）」を作成し、首都圏から訪れている大学生が参加する「下北かるた体験ツアー」（2月18～20日）で活用・評価してもらう。

下北かるた巡りモデルツアーの実証実験の実施

- ・下北かるた巡りモデルツアーから、モデル的に8箇所を抽出・設定し、その場所に、『下北かるたの絵札等を活用した看板』を実験的に設置し、首都圏から訪れている大学生が参加する「下北かるた体験ツアー」（2月18日のみ？）で体験してもらい、その有効性について評価してもらう。

##### ) 調査対象者

下北かるた巡りモデルツアー・マップの作成

- ・下北を訪れている首都圏大学生

下北かるた巡りモデルツアーの実証実験の実施

- ・下北を訪れている首都圏大学生

##### ) 実施スケジュール（案）

1月26日（土曜日） 第1回全体会議（各種準備・1週間）

1月30日（水曜日） 協定原案送付（県民局 JC、東北地方整備局）

協定検討開始（JC、東北地方整備局の2者間？、県民局は？）

1月31日（木曜日） 看板設置に関する設置場所現地調査（JC、県民局）

2月初旬（4日の週） モデルツアー・マップ&実証実験（枠組）確定

モデルツアー・マップ（平成19年度）作成開始

看板（8基）の製作開始

2月15日（金曜日） マップ（平成19年度）完成（予定）

2月18～20日 「下北かるた体験ツアー」（首都圏大学生参加、20部）

2月22日（金曜日） 【セミナー】下北地域魅力再発見セミナー開催（200部）

2月下旬～3月上旬 【意見交換会】意見交換会（3箇所）開催（200部）

3月16日～ 【大学生】発表会（シンポジウム）：首都圏（200部）

3月中旬 看板（8基）の完成・設置

3月下旬 成果とりまとめ

##### ) その他

広報・案内

- ・首都圏大学生への案内

必要作業と担当者

- ・企画

- ・モデルツアー・マップ（平成 19 年度）作成
- ・『下北かるたの絵札等を活用した看板』製作・設置の条件（3 者協定の締結や土木設置基準の確認など）整理
- ・『下北かるたの絵札等を活用した看板』は、8 基を製作・設置
- ・「下北かるた体験ツアー」（2 月 1 8 ～ 2 0 日）の資料作成・実施～別途事業
- ・当日事務局～進行、記録（写真撮影、議事録音等）
- ・成果品のとりまとめ

「下北かるたラリー（仮称）」企画書（A3二つ折り）



「下北かるたラリー（仮称）」企画書

社団法人 むつ青年会議所

理事長 千葉 博之

私たち社団法人むつ青年会議所は、「まちづくり」・「ひとづくり」をテーマに様々な取り組みをしています。その1つが「下北かるた」です。

「下北かるた」は次代を担う子供たちに、「郷土下北をよく知ってもらい、郷土を愛する心を育ててもらいたい」という地域の熱い想いから作成されました。このため、説れにある名所、人物、名産などは、下北の住民がみずから選び、その魅力を網羅できるように作られています。

当青年会議所では、毎年、下北の小学生を対象に「下北かるた」大会を開催しておりますが、年々取組むことに重点がおかれ、我々の企図した想いが少しずつ離れているように感じています。かるた大会は、子ども達が郷土を知り、郷土愛を育むばかりでなく、大人が郷土を守り、子ども達を導いていく責務があることを自覚してもらうことを真の目的としているのですから……。

「下北かるた」に込めた想いを実現し、将来に傳って伝えていくためには、地域の核となる我々青年達が、今この地域を守っている経済人達の叡智を結集して主体的に行動することが必要不可欠です。

このたび企画した「下北かるたラリー（仮称）」を通じて、下北のひとが地域の魅力、そして世代を超えた絆を再発見するきっかけとなれば幸いです。

社団法人 むつ青年会議所

〒035-0031 青森県むつ市御町1-10-25 TEL: (0175)22-4360 FAX: (0175)22-6450



## ■下北かるたラリーについて

### 事業実施の

#### 必要性 ~ 下北は1つ ~

いま、この下北で暮らしている人々のどれくらいが、下北のことを知って生活しているのでしょうか？最近御光を浴びている「大間まぐろ」を1年間通して獲れるものと思っているひとはいないでしょうか？尻屋崎の「寒立馬」は、冬の間は小屋で冬を越していると思っているひとはいないでしょうか？

下北に暮らす私たちが、下北のことを知らずしてここを訪れる観光客のみなさんを本当におもてしすることができるのでしょうか？下北に暮らしながら下北の素晴らしさを、半分もわかっていない方がほとんどではないかと思えます。

「下北かるたラリー(仮称)」をきっかけにぜひ自分たちの暮らすこの「素晴らしい下北」を端から端まで訪ねて、そして知っていただきたいと思えます。

また下北のことを知り尽くし、日本全国にこの「素晴らしい下北」をアピールしている方々には悩みがあると聞いています。それは、下北があまりにも広いため、下北各地域がうまく連携をとれていないことだそうです。例えば、東京都心において「下北地場産品キャンペーン」と題し、全国に下北をアピールする場に、下北全域の産品が網羅できず、一部地域の産品のみにとどまっている現状があります。本来下北と題したキャンペーンなので下北全域の産品を持ち寄るべきです。決して下北の一部であってはいけないのです。

「下北かるたラリー」は、下北各地に点在する44箇所をもって完成となります。言い換えれば下北半島8市町村のうち1箇所でも協力が得られなければ、決して完成はあり得ないのです。

この事業は、「下北は1つ」と位置づける絶好のチャンスです。ぜひ1つも欠けることのないよう下北の力を結集して完成させたいと思えます。

### 事業の

#### 目的 ~ 下北をもっともっと知ってもらうために ~

「下北かるた看板(仮称)」44箇所を設置、その場所を「下北かるたラリー」と題して巡り、大人から子供まで、全ての方に下北の素晴らしさを再発見してもらいます。

また、下北地区以外の観光客のみなさんに、「下北かるたラリー」を通じて、一部分だけではなく下北の全てを紹介します。

## 事業の

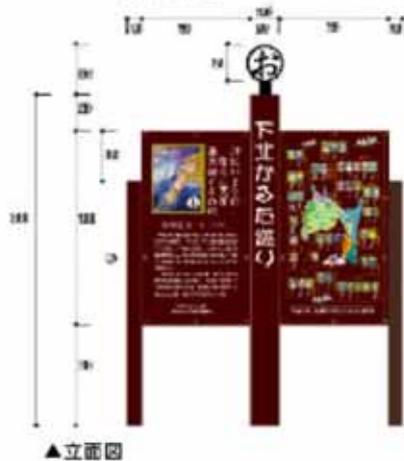
### 内容 ～ 下北かるたラリーで下北を回ろう ～

#### 下北かるたラリーコースの検討

#### 下北かるた看板(仮称)44箇所の製作・設置

⇒下北かるたラリーの基本となるもので44基の設置を目指します。

国の地方再生モデルプロジェクトの一環で実験事業として平成20年3月中に先行8基を仮設します。



▲立方面図



▲イメージCG



大畑漁港

「沖にいさり火…」



仏ヶ浦展望台

「仏ヶ浦は極楽の礎…」



島野沢 牛の首農村公園

「鎖島が夕陽を泳ぎ…」

#### 下北かるたラリーマップの作成・配布

⇒下北かるた看板(仮称)の設置場所の案内を基本とし、当面は、以下の情報を掲載します。

①看板設置場所の地図 ②トイレの場所 ③冬期間中の案内(通行止等)

将来は、以下の情報を追加していきたいと考えています。

○食事場所 ○おみやげの種類 ○時間別・日数別・題材別(碑、海産物、景勝等)の、お奨めコースの掲載

### 平成19年度の取り組み

- ⇒首都圏の学生による「下北かるたラリーコース」の検討
- ⇒実験事業としての、8基の「下北かるた看板(仮称)」の仮設
- ⇒首都圏の学生による「下北かるたラリーツアー」の実施・評価
- ⇒「下北かるたラリーマップ」(平成19年度版)の作成・配布

### 事業の

#### 将来イメージ ～ お食事券とお土産券がついてくる ～

- ・「下北かるたラリー」44箇所完走者には記念品等を用意し、ロコミによる参加者の増加を図ります。
  - ⇒ 44箇所本当に回ったかどうかの判断に関しては、自分のデジカメ(カメラ付携帯電話含む)を使用してもらい、確認後の記念品贈呈とします。
    - ※上記の準備ができた際には、ラリーマップにルール等を掲載します。
- ・「下北かるたラリーマップ」を有料で販売します。マップには、この「下北かるたラリー」を回っている途中の下北各地で使用できる「お食事券」と「お土産券」がついてきます。
  - ※例えば、ラリーマップを1部1,000円で販売
    - 700円のお食事券 と 300円のお土産券
    - ↓ ↓
    - 下北の店舗で使えるものとし、少しでも下北でお金を使ってもらえるようにします。
    - ※お食事券やお土産券の使えるお店の所在地も上記マップに掲載します。
- ・最終的には、マップの作成費用等をこれらの店舗に広告代として出資していただき、捻出します。

### 事業の

#### 予定スケジュール ～ モニターツアーの実施など ～

- 平成20年2月 ・首都圏大学生によるモニターツアーの実施(青森県下北地域県民局主催)
  - ・下北シンポジウム・セミナーの開催(青森県民局主催)
  - ・下北半島活性化研究会総会での協力要請
- 3月 ・下北かるた看板(仮称)先行8基の製作・仮設
- 春 ・各市町村及び各団体への趣旨説明及び「下北かるたラリー」モニターツアーの実施(予定)
- 夏 ・各学校遠足、町内会等へのモニターツアーの実施(予定)

※なお、平成20年度以降は、看板出資者の募集や設置場所の検討などに取り組むこととしており、行政とも連携しながら、44基全ての看板設置の早期実現を目指します。

# 下北かるたマップ

【第一校（おもて）】



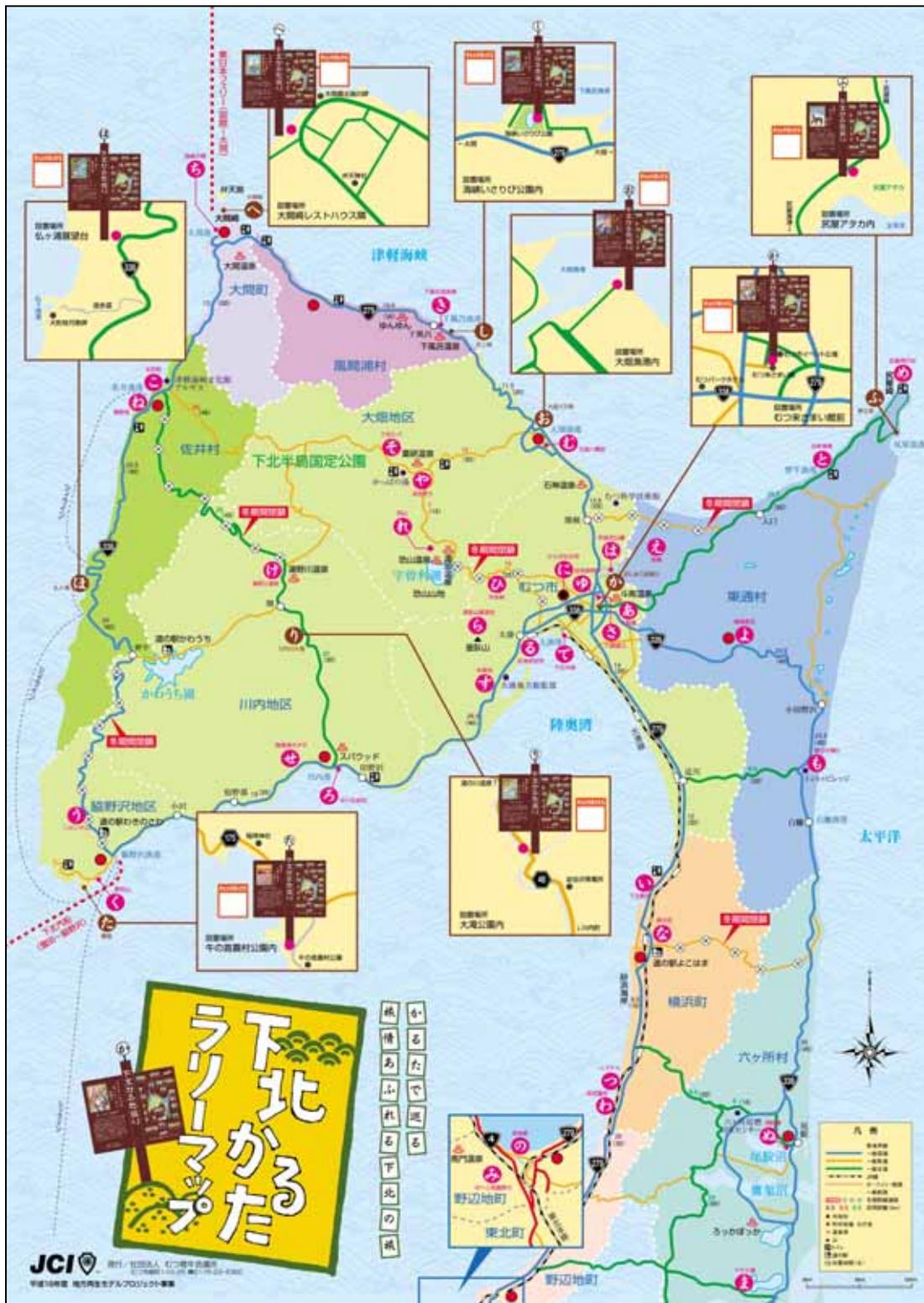
# 下北かるた 始めの一覧

「かるた」の由来

JCI 2017

<p>1 全津土産 今に伝わる 土産品</p> <p>全津土産 今に伝わる 土産品</p>	<p>2 山崎の 香るき餅屋 が元祖</p> <p>山崎の 香るき餅屋 が元祖</p>	<p>3 山崎の 香るき餅屋 が元祖</p> <p>山崎の 香るき餅屋 が元祖</p>	<p>4 山崎の 香るき餅屋 が元祖</p> <p>山崎の 香るき餅屋 が元祖</p>	<p>5 山崎の 香るき餅屋 が元祖</p> <p>山崎の 香るき餅屋 が元祖</p>	<p>6 山崎の 香るき餅屋 が元祖</p> <p>山崎の 香るき餅屋 が元祖</p>	<p>7 山崎の 香るき餅屋 が元祖</p> <p>山崎の 香るき餅屋 が元祖</p>	<p>8 山崎の 香るき餅屋 が元祖</p> <p>山崎の 香るき餅屋 が元祖</p>	<p>9 山崎の 香るき餅屋 が元祖</p> <p>山崎の 香るき餅屋 が元祖</p>	<p>10 山崎の 香るき餅屋 が元祖</p> <p>山崎の 香るき餅屋 が元祖</p>
---	---	---	---	---	---	---	---	---	--

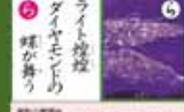
【最終校（おもて）】



# 下北かるた 絵札一覧

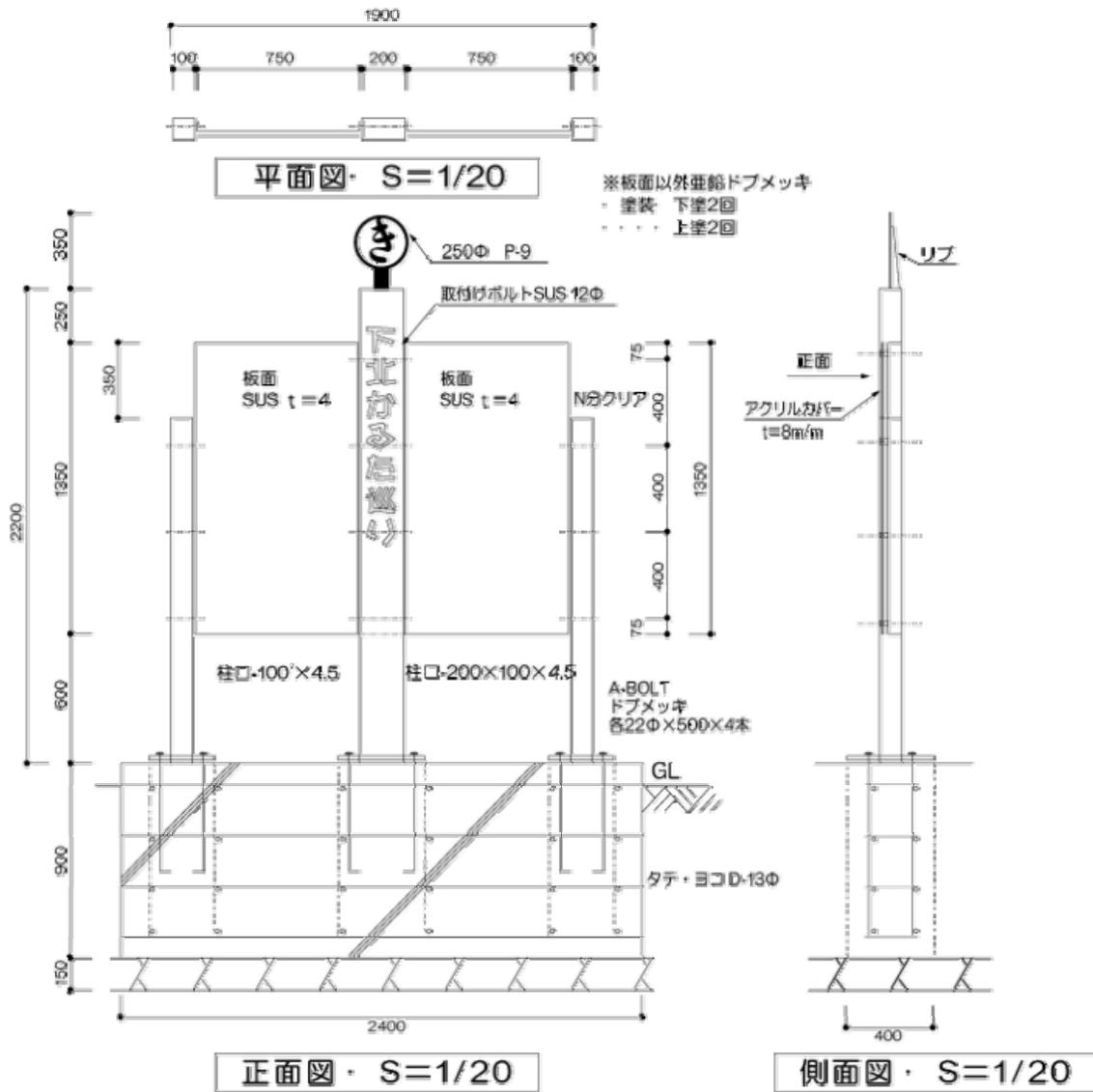
下北かるたについて  
この「下北かるた」は、現代にも受け継がれる下北の文化を、絵札を通して紹介し、下北の魅力を伝えることと、下北の歴史や文化を、絵札を通して紹介することとを目的としています。絵札のデザインは、下北の風景や文化を表現し、下北の魅力を伝えることと、下北の歴史や文化を、絵札を通して紹介することとを目的としています。

JCI  
JCI 認定 国際交流協会 認定 国際交流協会

 <p>津島土境 今に伝わる 牛馬丘</p>	 <p>風光明媚な 下北の郷</p>				
 <p>山道の 奥多摩の野</p>	 <p>水と 悠と伝統 龍舟</p>	 <p>沖にさりや 様な 龍舟</p>	 <p>かまいたちの 美人争い 空踊り</p>	 <p>下北の 春みれは い達の 下北の 春みれは い達の</p>	 <p>釣子 釣子 釣子</p>
 <p>津島の 奥多摩の野</p>	 <p>水と 悠と伝統 龍舟</p>	 <p>沖にさりや 様な 龍舟</p>	 <p>かまいたちの 美人争い 空踊り</p>	 <p>下北の 春みれは い達の 下北の 春みれは い達の</p>	 <p>釣子 釣子 釣子</p>
 <p>津島の 奥多摩の野</p>	 <p>水と 悠と伝統 龍舟</p>	 <p>沖にさりや 様な 龍舟</p>	 <p>かまいたちの 美人争い 空踊り</p>	 <p>下北の 春みれは い達の 下北の 春みれは い達の</p>	 <p>釣子 釣子 釣子</p>
 <p>津島の 奥多摩の野</p>	 <p>水と 悠と伝統 龍舟</p>	 <p>沖にさりや 様な 龍舟</p>	 <p>かまいたちの 美人争い 空踊り</p>	 <p>下北の 春みれは い達の 下北の 春みれは い達の</p>	 <p>釣子 釣子 釣子</p>
 <p>津島の 奥多摩の野</p>	 <p>水と 悠と伝統 龍舟</p>	 <p>沖にさりや 様な 龍舟</p>	 <p>かまいたちの 美人争い 空踊り</p>	 <p>下北の 春みれは い達の 下北の 春みれは い達の</p>	 <p>釣子 釣子 釣子</p>
 <p>津島の 奥多摩の野</p>	 <p>水と 悠と伝統 龍舟</p>	 <p>沖にさりや 様な 龍舟</p>	 <p>かまいたちの 美人争い 空踊り</p>	 <p>下北の 春みれは い達の 下北の 春みれは い達の</p>	 <p>釣子 釣子 釣子</p>
 <p>津島の 奥多摩の野</p>	 <p>水と 悠と伝統 龍舟</p>	 <p>沖にさりや 様な 龍舟</p>	 <p>かまいたちの 美人争い 空踊り</p>	 <p>下北の 春みれは い達の 下北の 春みれは い達の</p>	 <p>釣子 釣子 釣子</p>

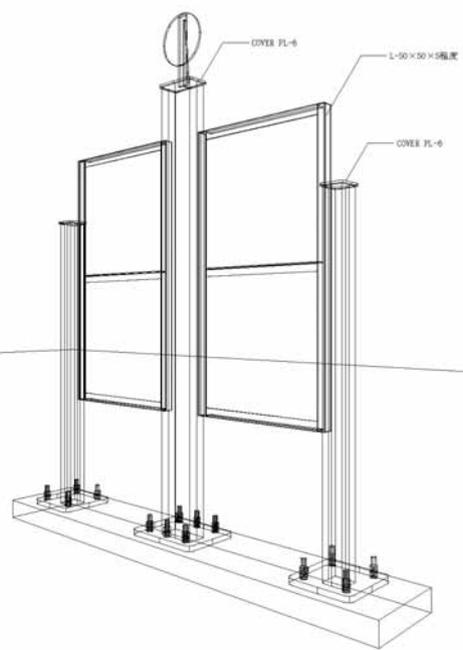
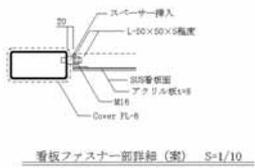
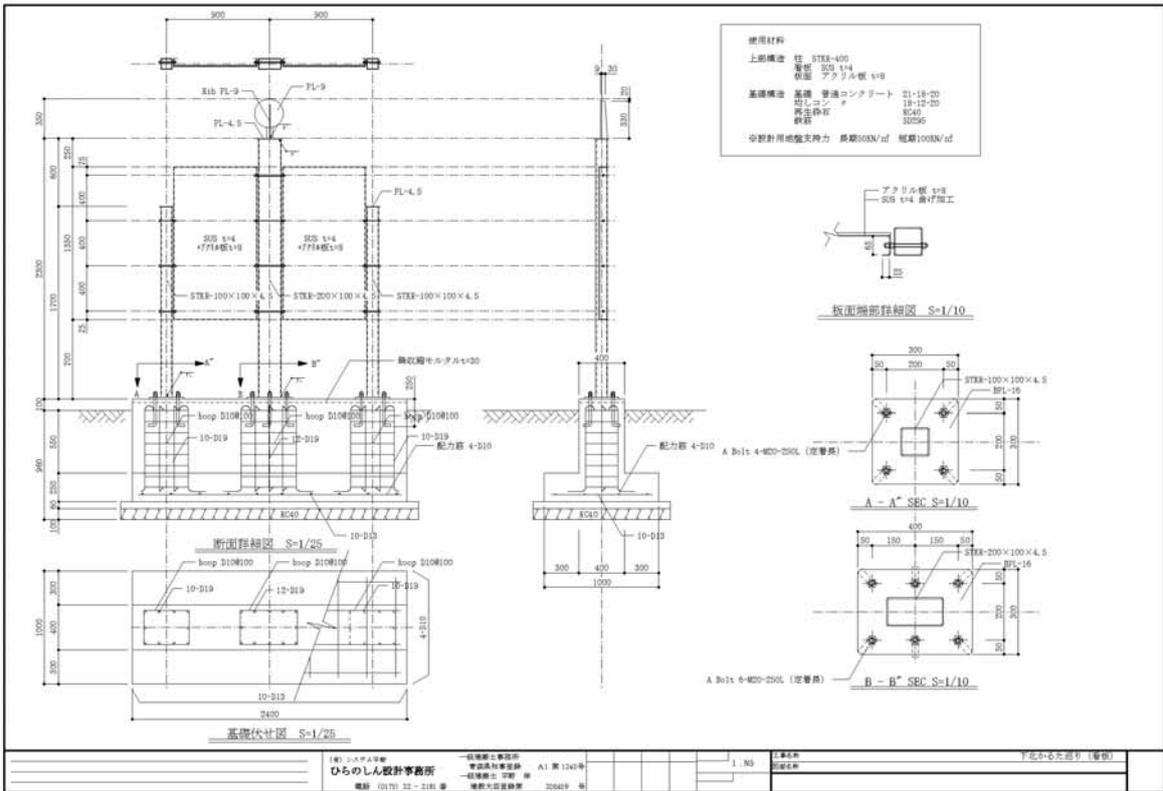
下北かるた看板の仮設置

) 図面 (その1)



報告書における縮尺は正しくない

) 図面 (その2)



## 構 造 計 算 書

計算書作成年月日

平成20年2月5日

工事名称：下北かるた巡り（看板）

構造設計

一級建築士事務所

有限会社 システム平野 ひらのしん設計事務所

一級建築士 大臣登録 第206459号

一級建築士事務所 青森県知事登録 1240号

むつ市小川町1-11-10

電話 0175-22-2181

## §1 構造物概要

構造 本体：鉄骨造 基礎：RC造  
 主用途 屋外広告塔  
 概略図 別紙参照

## §2 設計方針

- ・本工作物は屋外広告塔であるが、その形状により転倒方向（風力受圧方向）に関しては風圧力により検討し、直交方向に関しては地震力による応力が支配的になるが基礎配筋に関しては転倒方向に準じる。
- ・柱脚は露出固定とし、水平力・転倒モーメントを基礎に伝達させる。
- ・設計に当たり、建築基準法、鋼構造設計規準、建築基礎構造設計指針に準じ設計を行う。

## §3 使用材料の許容応力度

- ・鋼材 (N/mm<sup>2</sup>)

	長期					短期
	圧縮	引張	曲げ	せん断	支圧	
STKR400	156	156	156	90.5	213.8	長期の1.5倍

- ・コンクリート (N/mm<sup>2</sup>)

	長期			短期		
	圧縮	引張	曲げ	圧縮	引張	曲げ
普通コンクリート	7	-	0.7	14	-	1.05

- ・鉄筋 (N/mm<sup>2</sup>)

	長期			短期		
	引張	せん断	付着	引張	せん断	付着
SD295	196	196	0.95	295	295	1.42

## § 4 固定荷重の算定 (G)

柱	STKR-200×100×4.5	$20.1\text{kg/m} \times 2.3 \times 1 =$	46.23kg
	STKR-100×100×4.5	$13.1\text{kg/m} \times 1.7 \times 2 =$	44.54kg
板面	SUS t=4	$31.7\text{kg/m}^2 \times 0.93 \times 1.53 \times 2 =$	90.21kg
	アクリル板 t=8	$9.527\text{kg/m}^2 \times 0.75 \times 1.35 \times 2 =$	19.29kg
	カバープレート t=4.5	$35.32\text{ kg/m}^2 \times (0.12^2 \times 2 + 0.12 \times 0.22) =$	1.95 kg
	ベースプレート t=16	$125.6\text{ kg/m}^2 \times (0.3^2 \times 2 + 0.3 \times 0.4) =$	37.68 kg
合計			239.9kg

その他の副資材等を考慮して設計固定荷重(G)は 250kg とする。

## § 5 風圧荷重の算定 (W)

地表面粗度区分	Ⅱ	$H=2.3\text{m} < Z_b$
$Z_b$	=5m	$E_\gamma = 1.7 (Z_b/Z_c)^\alpha$
$Z_c$	=350m	$= 1.7 \times (5/350)^{0.15} = 0.90$
$\alpha$	=0.15	$E = E_\gamma^2 \cdot G_f = 0.90^2 \times 2.2 = 1.78$
$V_0$	=34m/S	$q = 0.6E V_0^2 = 0.6 \times 1.78 \times 34^2 = 1235\text{N/m}^2$
		$= 1.24\text{KN/m}^2$
転倒方向受圧面積		柱 100角 $A = 0.1 \times 1.7 = 0.17\text{ m}^2/\text{本}$
		柱 200×100角 $A = 0.2 \times 2.3 = 0.46\text{ m}^2/\text{本}$
		上部看板 $A = 0.25^2 \times 3.14/4 + 0.05 \times 0.1$
		$= 0.05\text{ m}^2$
		板面 $A = 0.75 \times 1.35 = 1.01\text{ m}^2/\text{枚}$
風力係数		1.2
風圧力 (全体)		$P_w = 1.2 \times 1.24 \times (0.17 \times 2 + 0.46 + 0.05 + 1.01 \times 2) = 4.27\text{KN}$

## § 6 地震時荷重の算定 (K)

建設省告示第 1449 号 (平成 12 年度) により水平震度は  
 $K=0.3Z, Z=0.9, C_i=0.9 \times 0.3=0.27, Q=0.27 \times 0.25 \times 9.8=0.66\text{KN}$

∴ W>K より短期は風圧により決定する。

#### §7 転倒モーメントの算定

転倒モーメント算定に当たり、板面の受圧面積に関しては負担巾を等分割するものとする。よって、左右柱はそれぞれ 1/4 づつ負担し、中柱は 1/2 の負担として算定を進める。尚、風圧力合力はそれぞれの重心位置に作用するものとする。

$$\begin{aligned} \text{左右柱} \quad M_{w-RL} &= 1.24 \times (0.1 \times 1.7 \times 0.85 + 0.375 \times 1.35 \times 1.375) \\ &= 1.04 \text{KN-m/本} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{中柱} \quad M_{w-C} &= 1.24 \times (0.2 \times 2.3 \times 1.15 + 0.05 \times 2.525 \\ &\quad + 0.75 \times 1.35 \times 1.375) \\ &= 2.54 \text{KN-m/本} \end{aligned}$$

$$\text{合計} \quad \Sigma M_w = 1.04 \times 2 + 2.54 = 4.62 \text{KN-m}$$

#### §8 柱の算定

##### ① 左右柱

STKR-100×100×4.5 を使用する。

$$A=16.67 \text{cm}^2, I=249 \text{cm}^4, Z=49.9 \text{cm}^3, i=3.87 \text{cm}, Lk=2 \times 1.7=3.4 \text{m}$$

$$\lambda = 340/3.87=87.8 \rightarrow f_{CL}=99.2 \text{N/mm}^2$$

$$f_{CS}=1.5 \times 99.2=148.8 \text{N/mm}^2$$

箱形断面より

$$f_{bL}=156 \text{N/mm}^2, f_{bS}=235 \text{N/mm}^2$$

長期軸力の算定

$$\begin{aligned} P_{L-RL} &= 22.27 + (90.21 + 19.29)/4 + 35.32 \times 0.12^2 + 125.6 \times 0.3^2 \\ &= 61.4 \text{kg} = 601.7 \text{N} \end{aligned}$$

$$\sigma_{CL-RL} = \sigma_{CS-RL} = 601.7 / (16.67 \times 100) = 0.36 \text{N/mm}^2 < f_{CL} \quad \text{OK}$$

$$\sigma_{bS} = 1.04 \times 10^6 / (49.9 \times 1000) = 20.84 \text{N/mm}^2$$

$$\sigma_{CS} / f_{CS} + \sigma_{bS} / f_{bS} = 0.36 / 148.8 + 20.84 / 235 = 0.091 < 1.0 \quad \text{OK}$$

## ② 中柱

STKR-200×100×4.5を使用する。

$$A=25.67\text{cm}^2, I=455\text{cm}^4, Z=90\text{cm}^3, i=4.21\text{cm}, Lk=2\times 2.3=4.6\text{m}$$

$$\lambda=460/4.21=109.3 \rightarrow f_{cl}=75.5\text{N/mm}^2$$

$$f_{cs}=1.5\times 75.5=113.2\text{N/mm}^2$$

箱形断面より

$$f_{bl}=156\text{N/mm}^2, f_{bs}=235\text{N/mm}^2$$

長期軸力の算定

$$P_{L-RL}=46.23+(90.21+19.29)/2+35.32\times 0.12\times 0.22 \\ +125.6\times 0.3\times 0.4=117.0\text{kg}=1146.6\text{N}$$

$$\sigma_{cl-c} = 1146.6/(25.67\times 100)=0.45\text{N/mm}^2 < f_{cl} \quad \text{OK}$$

$$\sigma_{bs}=2.54\times 10^5/(90\times 1000)=28.22\text{N/mm}^2$$

$$\sigma_{cs}/f_{cs} + \sigma_{bs}/f_{bs} = 0.45/113.2 + 28.22/235 = 0.124 < 1.0 \quad \text{OK}$$

## ③ 板面

$$\text{板面が受ける風圧力 } PW=1.2\times 1.24=1.49\text{KN/m}^2$$

$$\text{単位巾当たり } PW'' = 1.49\times 1.35=2.01\text{KN/m}$$

$$\text{水平方向曲げモーメント } M=1/8\times 2.01\times 0.75^2=0.14\text{KN-m}$$

看板の鉛直方向軸に関する断面係数を求める。

$$Z=24.368\text{cm}^2 \text{ (PCにて算定)}$$

$$f_{bs}=235\text{N/mm}^2 \text{ として}$$

$$\sigma_{bs}=0.14\times 10^5/(24.368\times 10^3)=5.74\text{N/mm}^2 < f_{bs} \quad \text{OK}$$

## §9 柱脚の算定

## ① 左右柱

$$e=M/N=1.04/0.6=1.73\text{m} > D/6+dt/3$$

$$D=30\text{cm}, dt=5\text{cm}, D/6+d/3=6.66\text{cm}$$

a.  $X_n$  の計算

$$x=e-D/2=173-30/2=158\text{cm}$$

$$x/d=158/25=6.32$$

$$A \text{ Bolt } 2\text{-M20} (a_t=6.28\text{cm}^2)$$

$$P=6.28 / (30 \times 25) = 0.0084$$

定盤中立軸位置の計算図表より  $X_n/d=0.44$

$$X_n=0.44 \times 25=11\text{cm}$$

b. 基礎コンクリートの最大圧縮応力度の計算

$$\begin{aligned} \sigma_c &= 2N \cdot (e+D/2-dt) / \{b \cdot X_n \cdot (D-dt-X_n/3)\} \\ &= 2 \times 0.6 \times (173-30/2-5) / \{30 \times 11 \times (30-5-11/3)\} \\ &= 0.026\text{KN/cm}^2 = 0.26\text{N/mm}^2 < \sigma_s f_c \quad \text{OK} \end{aligned}$$

c. アンカーボルトの計算

$$\begin{aligned} Z &= N \cdot (e-D/2+X_n/3) / (D-dt-X_n/3) \\ &= 0.6 \times (173-30/2+11/3) / (30-5-11/3) \\ &= 4.55\text{KN} \rightarrow \text{アンカーボルトに引き抜き力が生じる。} \\ &\text{引っ張り側アンカーボルト谷径断面積を } a_t \text{ とすると} \\ &a_t (\text{M20} \times 2 \text{ 本}) = 2 \times 234.9 = 469.8\text{mm}^2 \\ Z/a_t &= 4.55 \times 1000 / 469.8 = 9.68\text{N/mm}^2 < {}_{SR}f_t = 235\text{N/mm}^2 \quad \text{OK} \end{aligned}$$

d. アンカーボルト定着の計算 (定着長さ 25cm)

定着したコンクリート躯体のコーン状破壊により決まる場合の基礎ボルトの許容引っ張り応力度

$$T_p = \Phi 1 \cdot \sqrt{F_c} \cdot AC = 0.6 \times \sqrt{21} \times (250^2 \times 3.14) = 539598\text{N} = 539.6\text{KN}$$

$$T_b = 469.8 \times 235 = 110403\text{N} = 110.4\text{KN} < T_p \quad \text{OK}$$

e. ベースプレートの設計 (片持ち梁として設計)

$$\begin{aligned} t &= u \cdot \sqrt{\{3 \sigma_c / f_{b1} \cdot (1-u/3X_n)\}} \\ &= 100 \times \sqrt{\{3 \times 0.26 / 271 \times (1-100 / (3 \times 110))\}} \\ &= 4.48\text{mm} \rightarrow \text{設計は PL-16 とする。} \end{aligned}$$

② 中柱

$$e=M/N=2.54/1.15=2.21\text{m}>D/6+dt/3$$

$$D=30\text{cm}, dt=5\text{cm}, D/6+d/3=6.66\text{cm}$$

a.  $X_n$  の計算

$$x=e-D/2=221-30/2=206\text{cm}$$

$$x/d=206/25=8.24$$

$$A \text{ Bolt } 3\text{-M}20 (a_t=9.42\text{cm}^2)$$

$$P=9.42 / (40 \times 25) = 0.0094$$

定盤中立軸位置の計算図表より  $X_n/d=0.47$

$$X_n=0.47 \times 25=11.75\text{cm}$$

## b. 基礎コンクリートの最大圧縮応力度の計算

$$\begin{aligned} \sigma_c &= 2N \cdot (e+D/2-dt) / \{b \cdot X_n \cdot (D-dt-X_n/3)\} \\ &= 2 \times 1.15 \times (221-30/2-5) / \{30 \times 11.75 \times (30-5-11.75/3)\} \\ &= 0.062\text{KN/cm}^2 = 0.62\text{N/mm}^2 < \sigma_s f_c \quad \text{OK} \end{aligned}$$

## c. アンカーボルトの計算

$$\begin{aligned} Z &= N \cdot (e-D/2+X_n/3) / (D-dt-X_n/3) \\ &= 1.15 \times (221-30/2+11.75/3) / (30-5-11.75/3) \\ &= 11.45\text{KN} \rightarrow \text{アンカーボルトに引き抜き力が生じる。} \\ &\text{引っ張り側アンカーボルト谷径断面積を } a_t \text{ とすると} \\ a_t (\text{M}20 \times 3 \text{ 本}) &= 3 \times 234.9 = 704.7\text{mm}^2 \\ Z/a_t &= 11.45 \times 1000 / 704.7 = 16.25\text{N/mm}^2 < \sigma_{sr} f_t = 235\text{N/mm}^2 \quad \text{OK} \end{aligned}$$

## d. アンカーボルト定着の計算 (定着長さ 25cm)

定着したコンクリート躯体のコーン状破壊により決まる場合の基礎ボルトの許容引っ張り応力度

$$T_p = \Phi 1 \cdot \sqrt{F_c} \cdot AC = 0.6 \times \sqrt{21} \times (250^2 \times 3.14) = 539598\text{N} = 539.6\text{KN}$$

$$T_b = 704.7 \times 235 = 165604\text{N} = 165.6\text{KN} < T_p \quad \text{OK}$$

## e. ベースプレートの設計 (片持ち梁として設計)

$$t = u \cdot \sqrt{\{3 \sigma_c / f_{b1} \cdot (1 - u/3X_n)\}}$$

$$=100 \times \sqrt{3 \times 0.62 / 271 \times (1 - 100 / (3 \times 117.5))}$$

$$=7.01 \text{mm} \rightarrow \text{設計は PL-16 とする。}$$

## § 10 基礎の設計

工作物設置地盤の許容支持力を次の通り仮定する。

長期  $q_{dL}=50\text{KN/m}^2$

短期  $q_{dS}=100\text{KN/m}^2$

基礎自重を以下の通りとして計算を進める。

地中部基礎寸法を  $2.4\text{W} \times 1.0\text{B} \times 0.8\text{D}$  と仮定する。

コンクリート+上載土自重を  $20\text{KN/m}^3$  とする。

上部荷重  $PL=250\text{kg}= 2.45\text{KN}$

地上部基礎重量  $23.5 \times 2.4 \times 0.4 \times 0.1 = 2.26\text{KN}$

地中部基礎重量  $20 \times 2.4 \times 1.0 \times 0.8 = 38.40\text{KN}$

合計  $43.11\text{KN}$

基礎底面における転倒モーメントを求める。

左右柱  $M_{w-RL} = 1.24 \times \{0.1 \times 1.7 \times (0.85 + 0.9) + 0.375 \times 1.35 \times (1.375 + 0.9)\}$   
 $= 1.80\text{KN-m/本}$

中柱  $M_{w-C} = 1.24 \times \{0.2 \times 2.3 \times (1.15 + 0.9) + 0.05 \times (2.525 + 0.9) + 0.75 \times 1.35 \times (1.375 + 0.9)\}$   
 $= 4.24\text{KN-m/本}$

合計  $\Sigma M_{\tau} = 1.80 \times 2 + 4.24 = 7.84\text{KN-m}$

### ① 長期

$$\sigma_L = 43.11 / (2.4 \times 1.0) = 17.96\text{KN/m}^2 < q_{dL} \quad \text{OK}$$

### ② 短期

$$e = 7.84 / 43.11 = 0.18\text{m}, e/B = 0.18 / 1.0 = 0.18 > 1/6$$

$$\alpha = 2 / \{3 \times (1/2 - 0.18)\} = 2.08$$

$$\sigma_S = 2.08 \times 17.96 = 37.35\text{KN/m}^2 < q_{dS} \quad \text{OK}$$

$$X_n = 3 \times 1.0 \times (1/2 + 0.18) = 0.96\text{m}$$

転倒の検討

$$\text{安定モーメント } M_o = 43.11 \times 0.5 = 21.55\text{KN}\cdot\text{m} > M_r \quad \text{OK}$$

### ③ 断面算定

安全を考慮し、基礎自重を含み算定する。

ベデスタル面での接地圧を  $\sigma_h$  とすると

$$\sigma_h = 0.66 \times 37.35 / 0.96 = 25.68\text{KN}/\text{m}^2$$

せん断力の算定

$$Q_p = (37.35 + 25.68) / 2 \times 2.4 \times 0.3 = 22.69\text{KN}$$

曲げモーメントの算定

$$M_p = 22.69 \times 0.3 / 3 \times (2 \times 37.35 + 25.68) / (37.35 + 25.68) \\ = 3.61\text{KN}\cdot\text{m}$$

$D = 25\text{cm}$  とする。

$$j = 7/8 \times (25 - 6) = 16.625\text{cm}$$

$$\phi = 22.69 \times 1000 / (1.42 \times 166.25) = 96.11\text{mm}$$

$$a_v = 3.61 \times 10^6 / (295 \times 166.25) = 73.61\text{mm}^2$$

10-D13 ( $\phi = 399\text{mm}$ ,  $a_t = 1267\text{mm}^2$ ) とする。



(有) 十 字 堂  
工 事 費 明 細 書

名 称		規格寸法	数量	単位	単 価	金 額	備 考
バックホウ床掘(小規模)		山積0.28m <sup>3</sup> ・後方超小旋回	63.2	m <sup>3</sup>	¥1,435	¥90,692	
埋戻し工(小規模土工)			53.6	m <sup>3</sup>	¥2,279	¥122,154	
ダンプ運搬2t積込: BH山積0.13m <sup>3</sup>		60.0km以下DID無 土砂	9.6	m <sup>3</sup>	¥11,187	¥107,395	
基礎柱石工 t=0.1m		再生クラッシュラン RC-40	25.6	m <sup>2</sup>	¥2,028	¥51,917	
コンクリート人カ打設		小型構造物 ②18-8-40W/C≤60%	1.6	m <sup>3</sup>	¥25,118	¥40,189	
均し基礎コンクリート型枠工			4.0	m <sup>2</sup>	¥3,049	¥12,196	
鉄筋工一般構造物・一般部10t未満		異形棒鋼SD295A D10電炉	199.2	kg	¥116	¥23,107	
鉄筋工一般構造物・一般部10t未満		異形棒鋼SD295A D13電炉	72.0	kg	¥114	¥8,208	
鉄筋工一般構造物・一般部10t未満		異形棒鋼SD295A D19電炉	484.0	kg	¥112	¥54,208	
型枠工		ベース部分 鉄筋・無筋構造物	13.6	m <sup>2</sup>	¥5,974	¥81,246	
型枠工		立上り部分 鉄筋・無筋構造物	29.6	m <sup>2</sup>	¥5,974	¥176,830	
コンクリート人カ打設		ベース部分 小型構造物 21-18-20	4.8	m <sup>3</sup>	¥25,754	¥123,619	
コンクリート人カ打設		立上り部分 小型構造物 21-18-20	5.6	m <sup>3</sup>	¥25,754	¥144,222	
コンクリートアンカーボルト据付		設置のみ	8	ヶ所	¥12,712	¥101,696	
舗装版切断アスファルト舗装版		Coなし As20cm迄	10.8	m	¥411	¥4,439	
人カアスファルト舗装版破砕		舗装版厚40<t≤100mm 横込あり	8.2	m <sup>2</sup>	¥3,069	¥25,166	

No.1

下北かるた巡り(看板) 基礎工事...8基あたり



# 工事費明細書

(有) 十字堂

下北かるた巡り(看板) 枠組加工...8基あたり

名 称	規格寸法	数 量	単 位	単 価		金 額	備 考
柱	□-100×100×4.5×1,700	16	本	¥3,300		¥52,800	
	□-100×200×4.5×2,300	8	本	¥6,200		¥49,600	
	BPL-16 300×300×2 300×400×1	304	kg	¥105		¥31,920	
	PL-8 100×100×1 100×200×1 150×150×1	72	kg	¥95		¥6,840	
柱脚ハチマキ	PL-4.5 200×400×2 200×600×1	80	kg	¥105		¥8,400	
板面	SUS t=4 1,520×860×2	768	kg	¥640		¥491,520	
取付ボルト	ドブめっきA-BOLT M20×L=250	112	本	¥800		¥89,600	
ドブめっき		1184	kg	¥80		¥94,720	
取付ボルト	SUS 直径5×25 袋ナット SW	160	本	¥87		¥13,920	
取付ボルト	SUS 柱と板面 直径12×150 両側	48	本	¥510		¥24,480	
取付ボルト	SUS 柱と板面 直径12×300 中央	32	本	¥720		¥23,040	
ボルト取付加工		8	台	¥7,680		¥61,440	
加工費		28	人	¥20,000		¥560,000	
消耗品・器具損料		1	式			¥60,000	
運搬費		1	式			¥85,000	
諸経費		5	%			¥82,664	
合 計						¥1,735,944	

# 工事費明細書

(有) 十字堂

下北かるた巡り看板 板面・頭文字加工…8基あたり

名称	規格寸法	数量	単位	単価	金額	備考
看板デザイン、編集		1	式		¥95,000	
インクジェットプリント(ラミ付)	900mm巾	24	m	¥4,200	¥100,800	
アクリル(クリア)	1,525 × 1,525 × t8mm	8	枚	¥40,560	¥324,480	
スコッチカルフィルム(白)	1,000mm巾	26	m	¥2,510	¥65,260	
スコッチカルフィルム(黒)	1,000mm巾	1	m	¥2,510	¥2,510	
アクリル加工(裁断、穴あけ、エッジ磨き)		16	枚	¥4,500	¥72,000	
プリント貼付加工(二重貼)		16	枚	¥2,500	¥40,000	
スコッチカルフィルム切文字加工貼付		8	枚	¥3,500	¥28,000	
リタックシート(和紙)	1,000mm巾	3	m	¥300	¥900	
支柱・板面ウレタン塗装		1	式		¥280,000	
看板運搬・据付作業		8	基	¥27,000	¥216,000	
2t ユニツク車		3	日	¥10,000	¥30,000	
消耗品・器具損料		1	式		¥16,000	
諸経費		5	%		¥63,548	
合 計					¥1,334,498	

## 土地使用貸借契約書

土地の使用貸借について、借受人国土交通省東北地方整備局（以下「甲」という。）と貸付人尻屋土地保全会（以下「乙」という。）及び施設の維持管理業務受託者社団法人むつ青年会議所（以下「丙」という。）は次の条項により契約を締結する。

第1条 乙は、その所有する次に掲げる土地（以下「土地」という。）を甲に無償で貸し付け、甲は、これを借り受ける。

- (1) 所在地 東通村大字尻屋字札地12番5 (詳細別添図面のとおりに)
- (2) 地目 保安林
- (3) 地積 2,888㎡のうち 2.4㎡

2 丙は、甲の委託により土地及び「平成19年度地方再生モデルプロジェクト」によって設置された施設（以下「下北かるた看板（仮称）」という。）の維持管理に関する業務を実施する。

第2条 甲は、土地を「下北かるた看板（仮称）」設置用地として使用し、その他の用途に使用しないものとする。

第3条 土地の使用貸借の期間は、平成20年3月14日から「下北かるた看板（仮称）」撤去の日までとする。

第4条 丙は、善良な管理者の注意をもって、土地及び「下北かるた看板（仮称）」の維持管理をしなければならない。

2 丙は、「下北かるた看板（仮称）」に起因して第三者に損害を及ぼす事態が発生したときは、丙の責任において一切を解決しなければならない。

第5条 甲は、土地の現状を変更しようとするときは、あらかじめ乙の承諾を受けなければならない。

第6条 甲は、土地を第2条の用途に使用しないようになったとき、又は乙が必要と認めるときは、直ちに乙に返還するものとする。

第7条 この契約について疑義が生じたとき及び契約の履行に必要な事項は、甲、乙、丙協議のうえ決定するものとする。

この契約締結の証として、本書3通を作成し、甲、乙、丙記名押印のうえ、各自1通を保有する。

平成20年3月14日

甲) 住 所 仙台市 青葉区 二日町9番15号

氏 名 国土交通省東北地方整備局  
企画課長 河村 英



乙) 住 所 東通村大字尻屋

氏 名 尻屋土地保全会  
会 長 中村 與澄

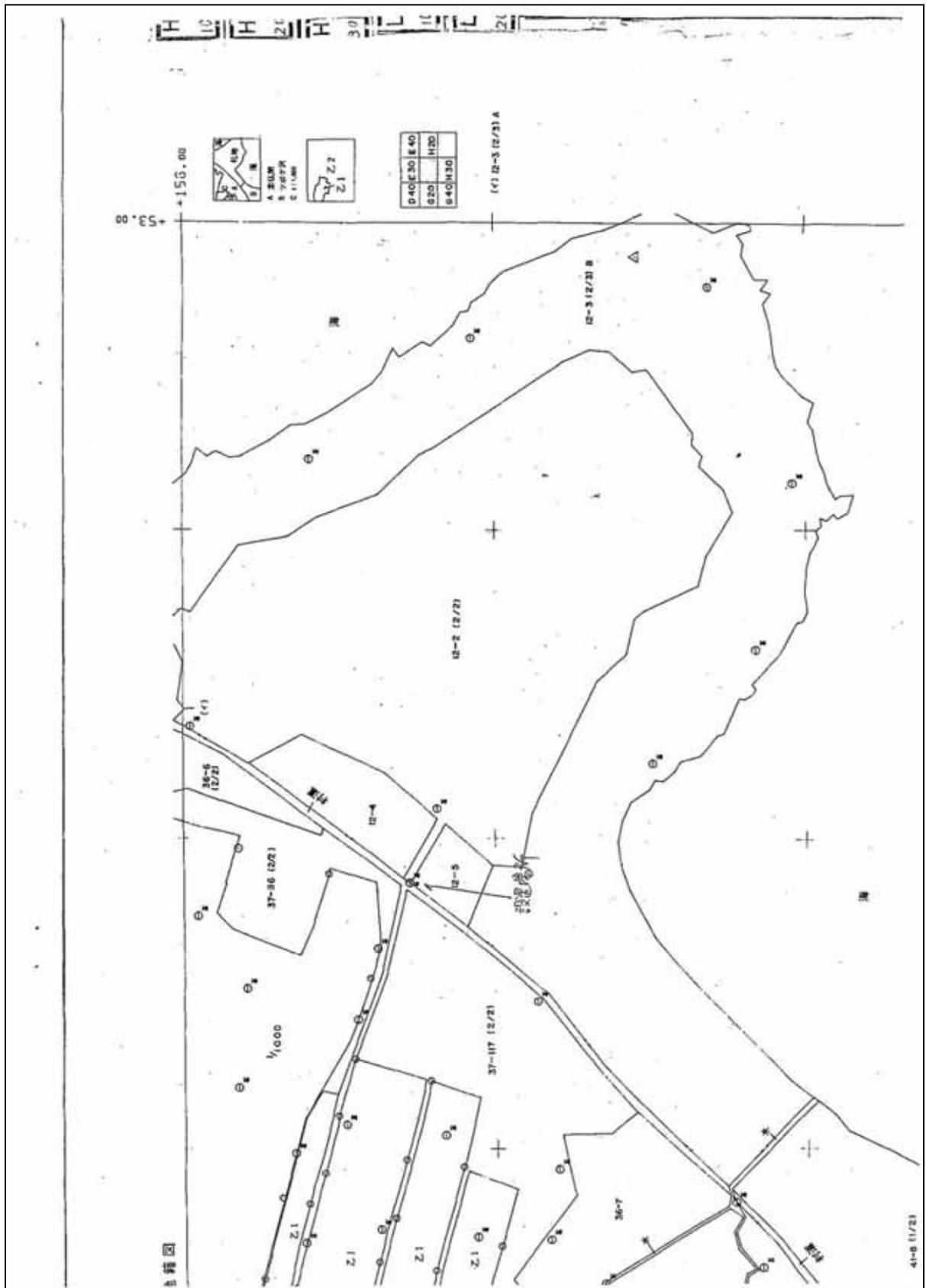


丙) 住 所 むつ市 柳町1丁目10番25

氏 名 社団法人むつ青年会議所  
理事長 千葉 博









## 土地使用貸借契約書

土地の使用貸借について、借受人国土交通省東北地方整備局（以下「甲」という。）と貸付人大間漁業協同組合（以下「乙」という。）及び施設の維持管理業務受託者社団法人むつ青年会議所（以下「丙」という。）は次の条項により契約を締結する。

第1条 乙は、その所有する次に掲げる土地（以下「土地」という。）を甲に無償で貸し付け、甲は、これを借り受ける。

- (1) 所在地 大間町大字大間字大間平17番1 (詳細別添図面のとおりに)
- (2) 地目 原野
- (3) 地積 2,080㎡のうち 274㎡

2 丙は、甲の委託により土地及び「平成19年度地方再生モデルプロジェクト」によって設置された施設（以下「下北かるた看板（仮称）」という。）の維持管理に関する業務を実施する。

第2条 甲は、土地を「下北かるた看板（仮称）」設置用地として使用し、その他の用途に使用しないものとする。

第3条 土地の使用貸借の期間は、平成20年3月14日から「下北かるた看板（仮称）」撤去の日までとする。

第4条 丙は、善良な管理者の注意をもって、土地及び「下北かるた看板（仮称）」の維持管理をしなければならない。

2 丙は、「下北かるた看板（仮称）」に起因して第三者に損害を及ぼす事態が発生したときは、丙の責任において一切を解決しなければならない。

第5条 甲は、土地の現状を変更しようとするときは、あらかじめ乙の承諾を受けなければならない。

第6条 甲は、土地を第2条の用途に使用しないようになったとき、又は乙が必要と認めたときは、直ちに乙に返還するものとする。

第7条 この契約について疑義が生じたとき及び契約の履行に必要な事項は、甲、乙、丙協議のうえ決定するものとする。

この契約締結の証として、本書3通を作成し、甲、乙、丙記名押印のうえ、各自1通を保有する。

平成20年3月14日

甲) 住 所 仙台市 青葉区 二日町9番15号

氏 名 国土交通省東北地方整備局  
企画課長 河村 英



乙) 住 所 大間町大字大間字下手<sup>59</sup>道~~も~~荒地<sup>3</sup>

氏 名 大間漁業協同組合  
組合長理事 濱端 廣文

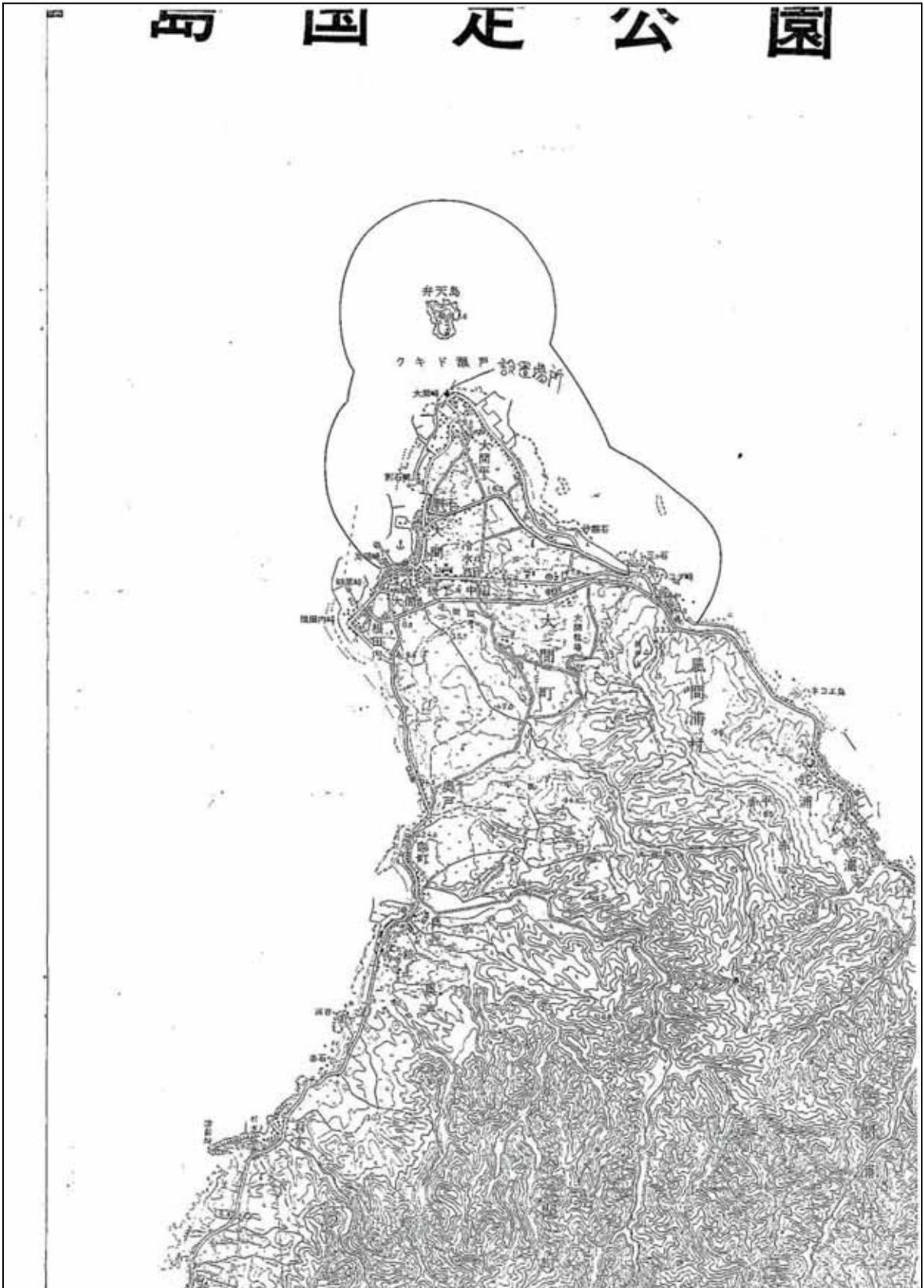


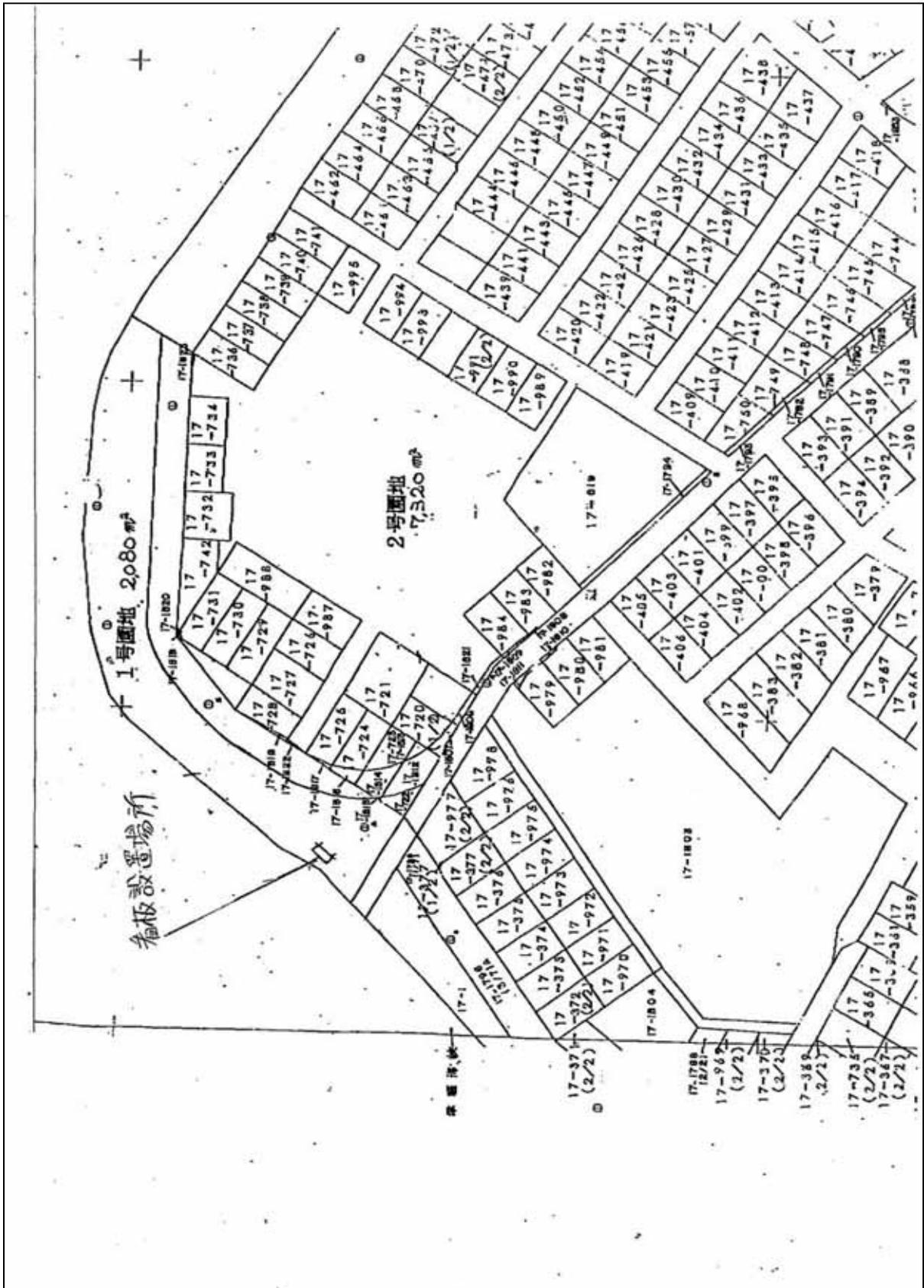
丙) 住 所 むつ市 柳町1丁目10番25

氏 名 社団法人むつ青年会議所  
理事長 千葉 博



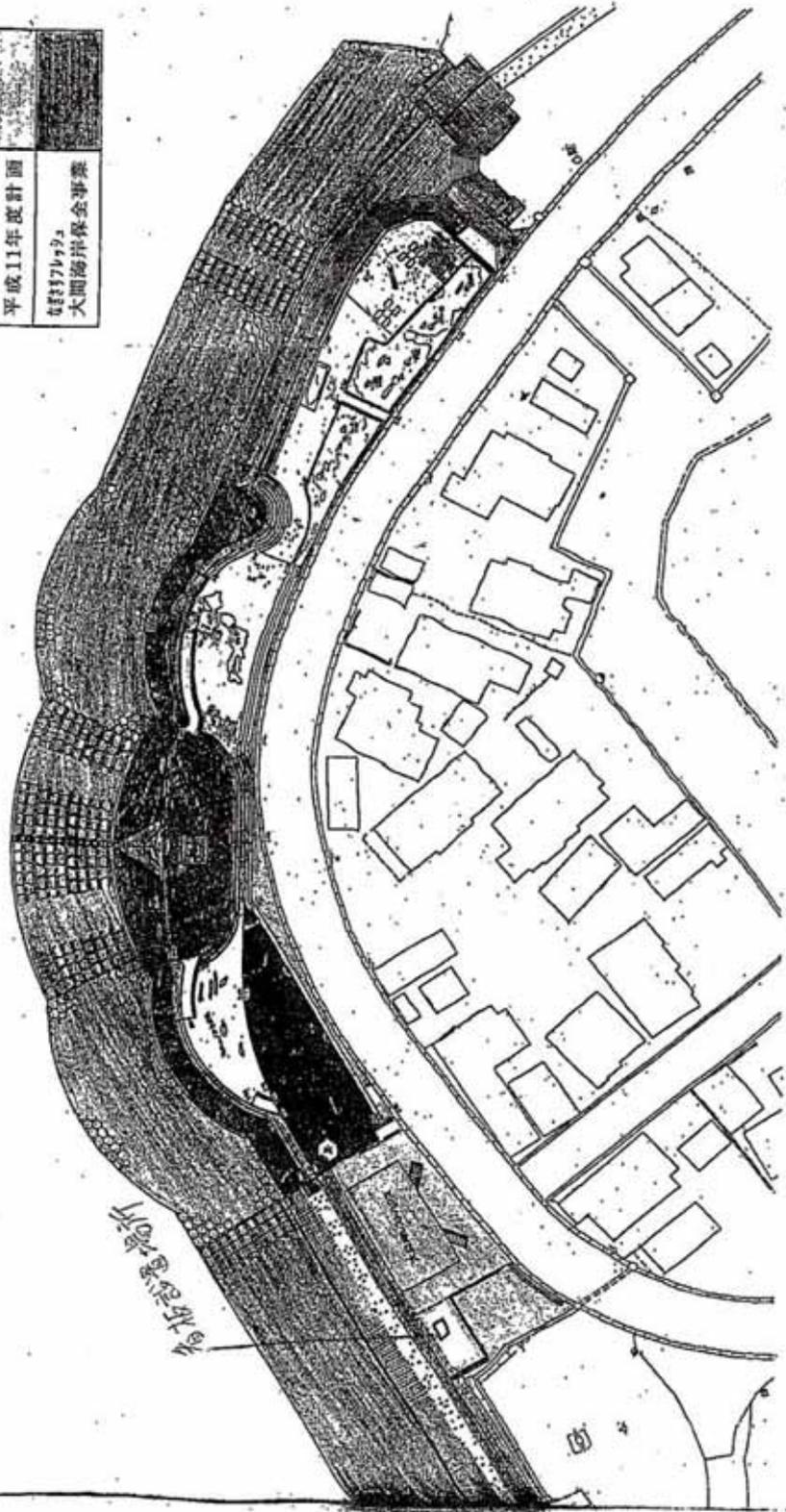
# 西 国 正 公 園





下北千高国正公園観元池設置備事業  
 平成10年度大間崎園地整備事業

凡 例	
平成6年度施工済	
平成7年度施工済	
平成8年度施工済	
平成9年度施工中	
平成10年度	
平成11年度計画	
建設費 大間崎岸保全事業	



## 「下北かるた看板（仮称）」の維持管理業務に関する覚書

国土交通省東北地方整備局（以下「甲」という。）と社団法人むつ青年会議所（以下「乙」という。）は、「平成19年度地方再生モデルプロジェクト」によって設置された別表に掲げる施設（以下「下北かるた看板（仮称）」という。）の維持管理業務（以下「委託業務」という。）について、次のとおり覚書を交換する。

### （目的）

第1条 本覚書は、甲及び乙が下北地域広域観光振興に資するモデルプラン「下北かるた看板（仮称）」の設置にあたり、適正かつ円滑な維持管理の遂行を図ることを目的とする。

### （対象施設の範囲）

第2条 この覚書の対象となる施設の範囲は、別表に掲げる「下北かるた看板（仮称）」とする。

### （財産の帰属）

第3条 施設等の財産は、甲に帰属するものとする。

### （維持管理）

第4条 乙は、道路利用者並びに周辺住民等の安全を図るため、善良な管理者の注意をもって、委託業務を行わなければならない。

### （委託業務の内容）

第5条 甲が乙に委託する業務の内容等は、次のとおりとする。

- (1) 「下北かるた看板（仮称）」の状態を常に点検、把握し、汚損または破損等の防止のためにする監視等。
- (2) 「下北かるた看板（仮称）」が汚損または破損した場合、原状回復のために行う維持、補修等。

### （委託業務に要する費用の負担）

第6条 乙は、前条に規定する委託業務に要する費用を負担する。

### （損害賠償）

第7条 「下北かるた看板（仮称）」に起因して第三者に損害が生じたときは、乙がその損害を賠償するものとする。

(報告及び調査)

第8条 乙は、「下北かるた看板(仮称)」を滅失または損傷したときは、遅滞なくその状況を甲に報告するとともに、その指示に従わなければならない。

2 乙は、自己の責めに帰すべき理由により、「下北かるた看板(仮称)」を滅失または損傷したときは、甲の指示するところに従い、自己の負担において「下北かるた看板(仮称)」を原状に回復しなければならない。

3 甲は、必要があると認めたときは、乙に対して委託業務の状況について報告を求め、または実地に調査することができるものとする。

(委託期間)

第9条 この協定による委託期間は協定締結の日から平成20年12月31日までとする。

2 委託期間満了の日から2ヶ月前までに、甲または乙から委託期間を更新しない旨の意思表示がないときは、委託期間は更に一年間延長されるものとし、その後においても同様とする。

(施設撤去に要する費用の負担)

第10条 乙の意思により、委託期間を更新しない場合及び原状回復が困難な破損(耐用年数を超えた撤去含み)等が生じた場合における「下北かるた看板(仮称)」の撤去に要する費用は、乙が負担するものとする。ただし、甲の意思により委託期間を更新しない場合における下北かるた看板の撤去に要する費用は、甲が負担するものとする。

(その他)

第11条 この覚書に定めのない事項(甲乙の組織改編なども含む)または疑義の生じた事項については、甲乙協議して定めるものとする。

上記覚書の成立を証するため、この覚書を2通作成し、甲乙記名押印の上、各自その1通を保有するものとする。

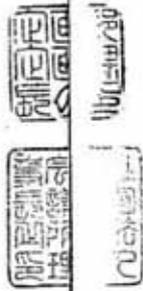
平成20年3月14日

甲) (住所) 仙台市青葉区二日町9番15号  
(氏名) 国土交通省東北地方整備局  
企画課長 河村 英



乙) (住所) むつ市柳町一丁目10番2号  
(氏名) 社団法人むつ青年会議所  
理事長 千葉 博之





別表

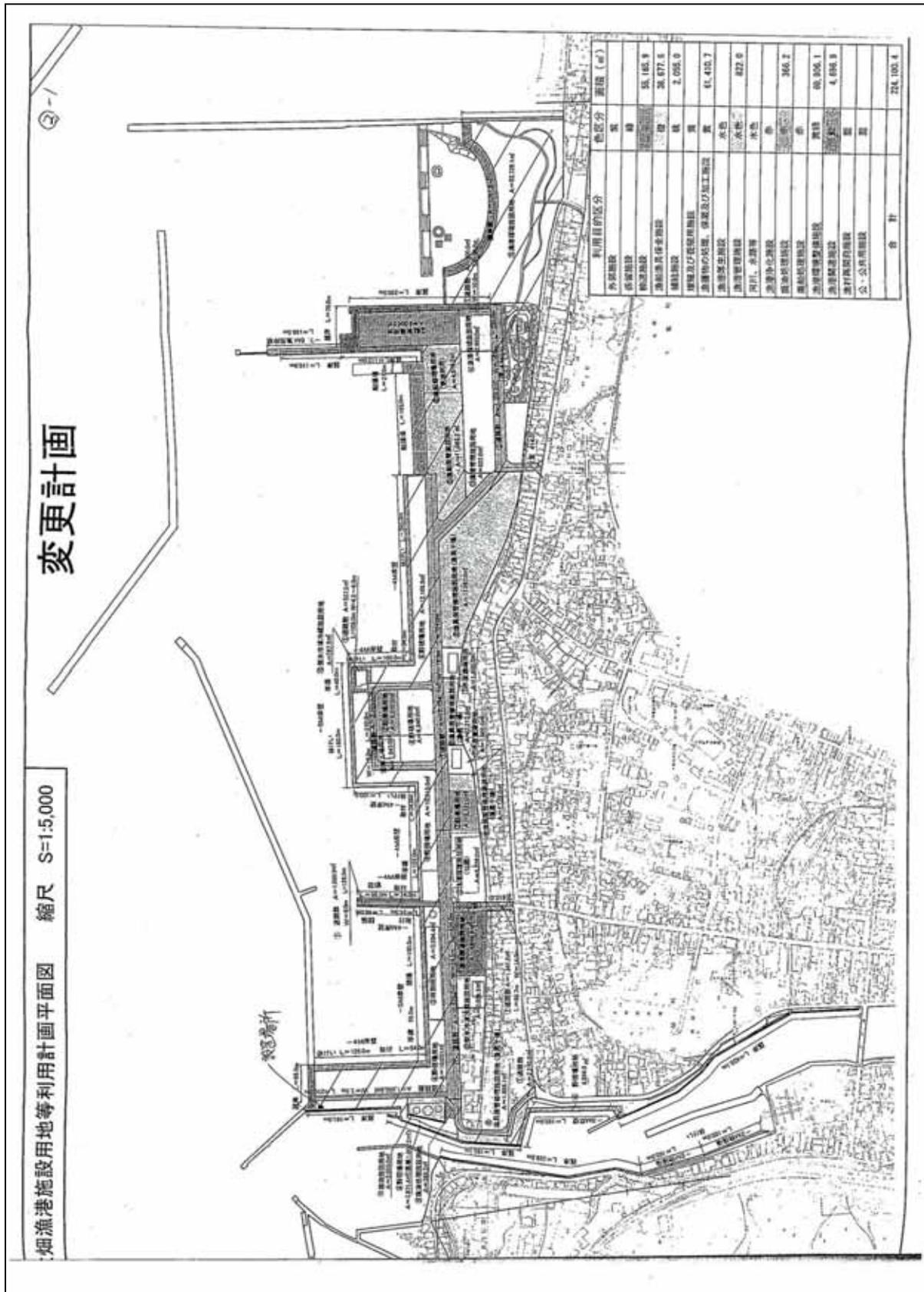
「下北かるた看板（仮称）」

看板名	設置場所	図面
か	むつ市田名部町 地内 むつ市所有地	①
お	むつ市大畑町湊村 195-1 青森県所有地（下北地域県民局地域農林水産部所管）	②
た	むつ市鷹野沢新井田 94番地 むつ市所有地	③
り	川内町大字川内字高野山園有林 739林班い4外小班 むつ市管理地	④
し	鵜間浦村大字下風呂字街道添 50 青森県所有地（下北地域県民局地域農林水産部所管）	⑤
へ	大間町大字大間字大間平 17番 1 大間町漁業協同組合所有地	⑥
ほ	佐井村大字長後字縫道石園有林 115林班 青森県管理地（下北地域県民局地域整備部所管）	⑦
ふ	東通村大字尻屋字札地 12番 5 石谷忠二ほか32名（尻屋土地保全会）所有地	⑧

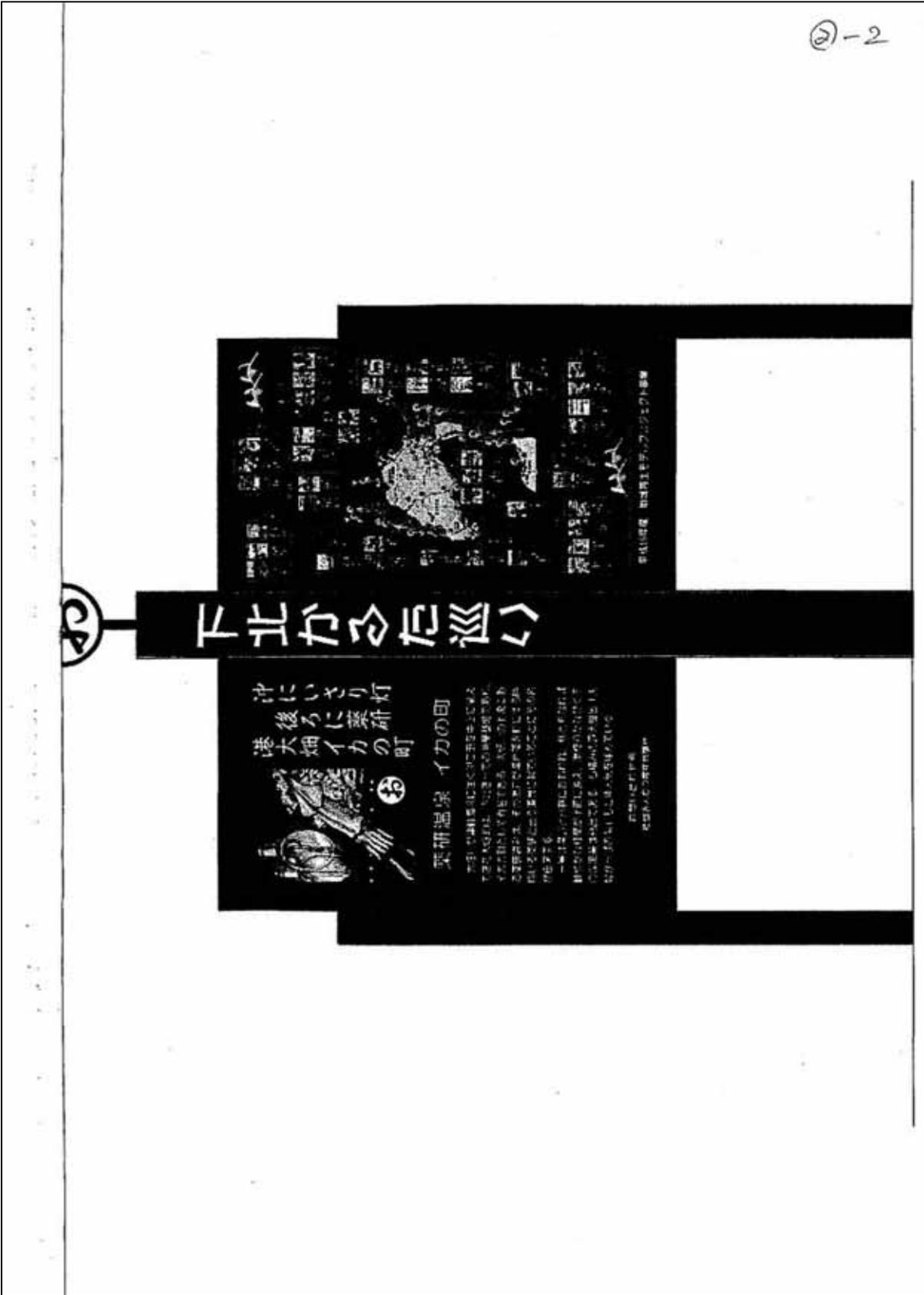
※ 8基共通 断面詳細図・基礎伏せ図 図面⑨  
 8基共通 立体イメージ図 図面⑩

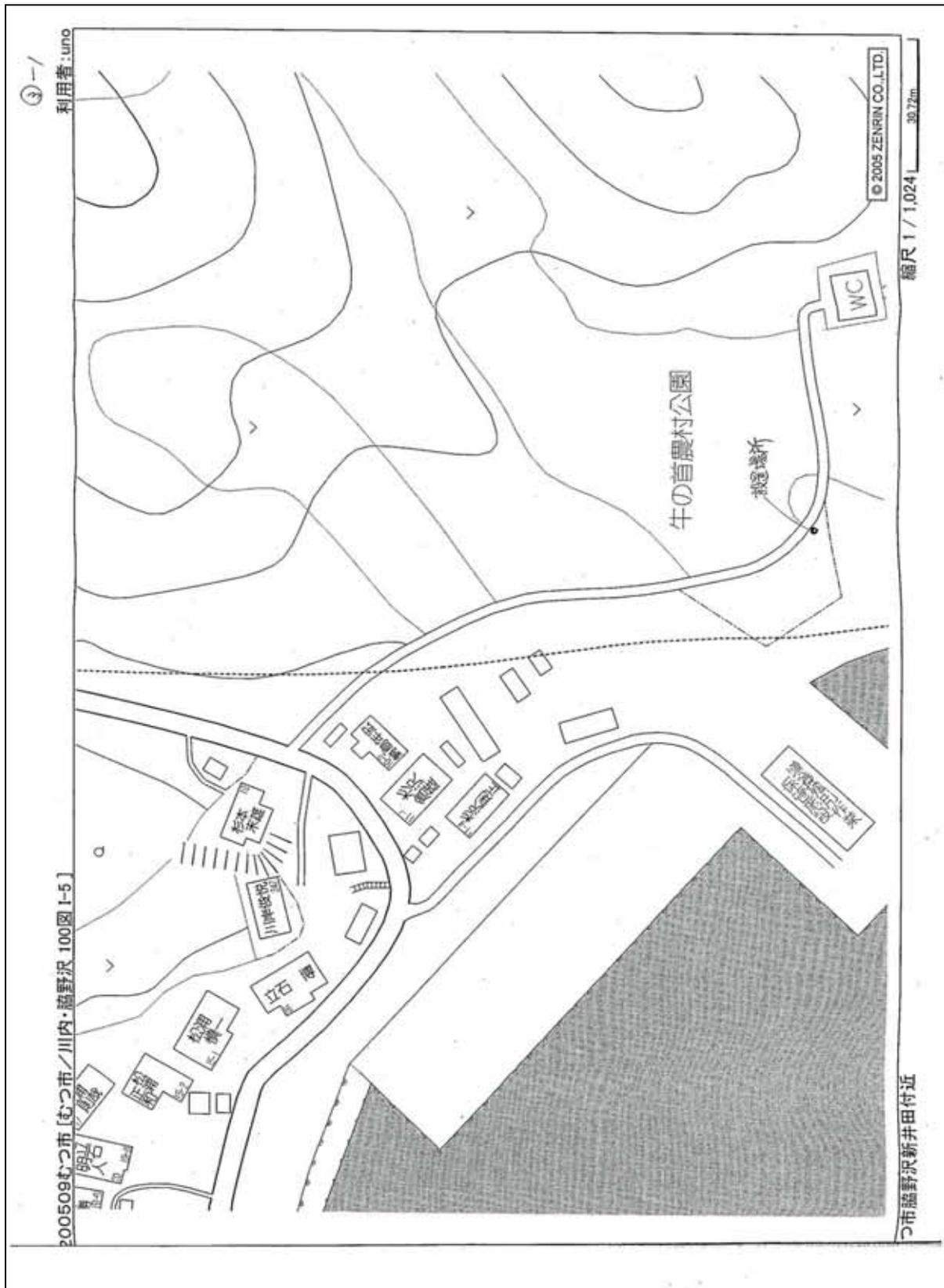






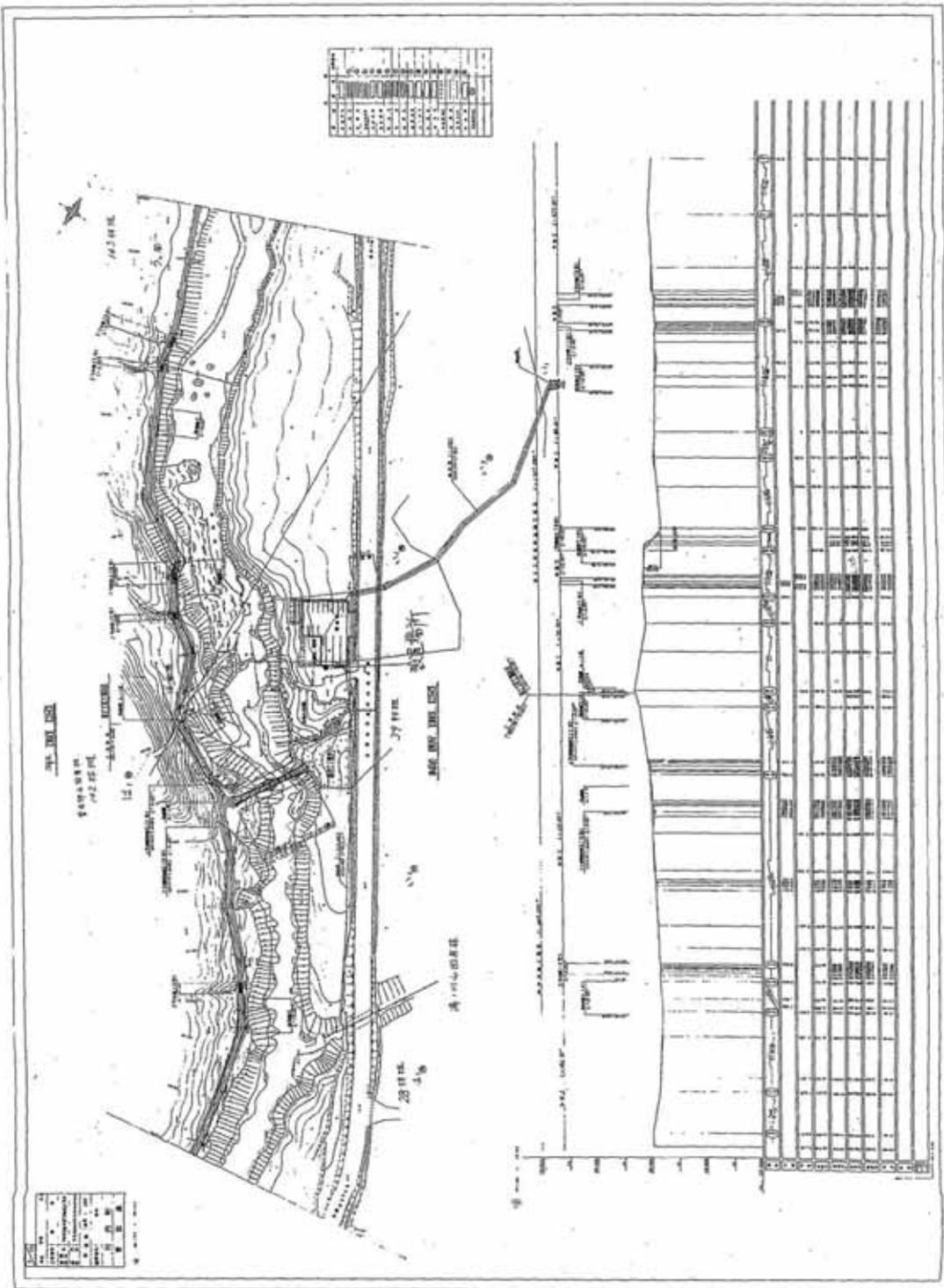
②-2



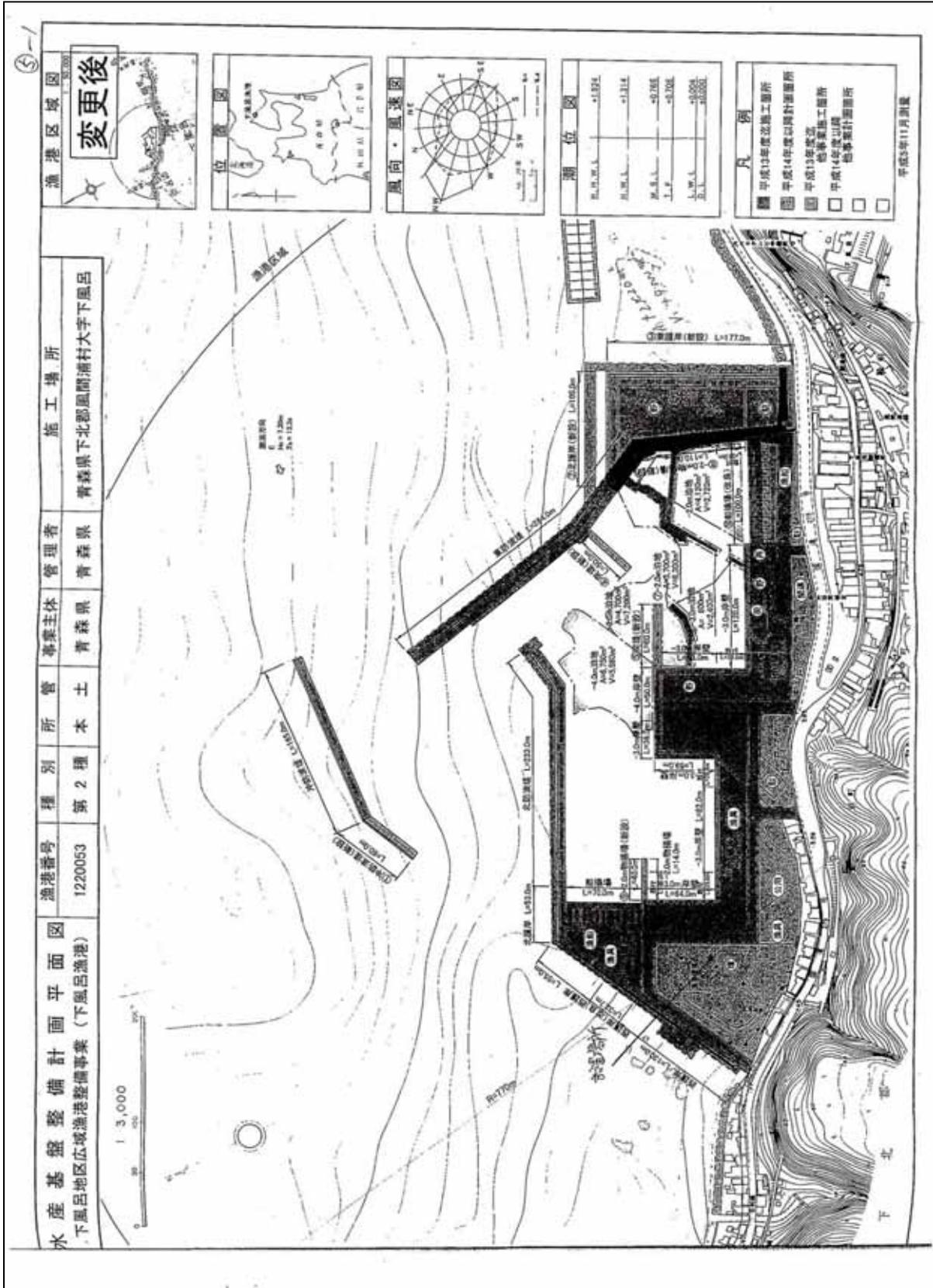




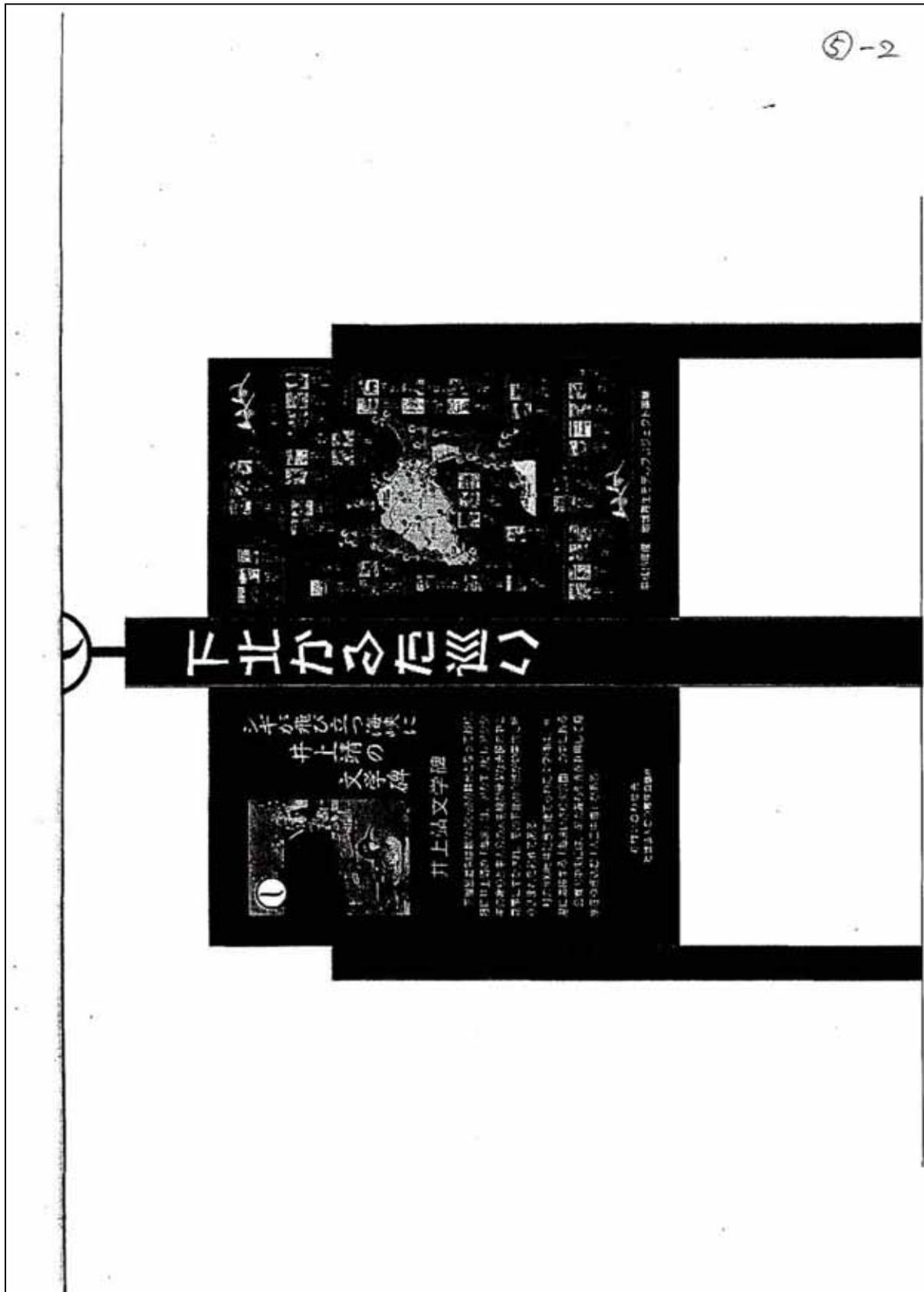
1-2







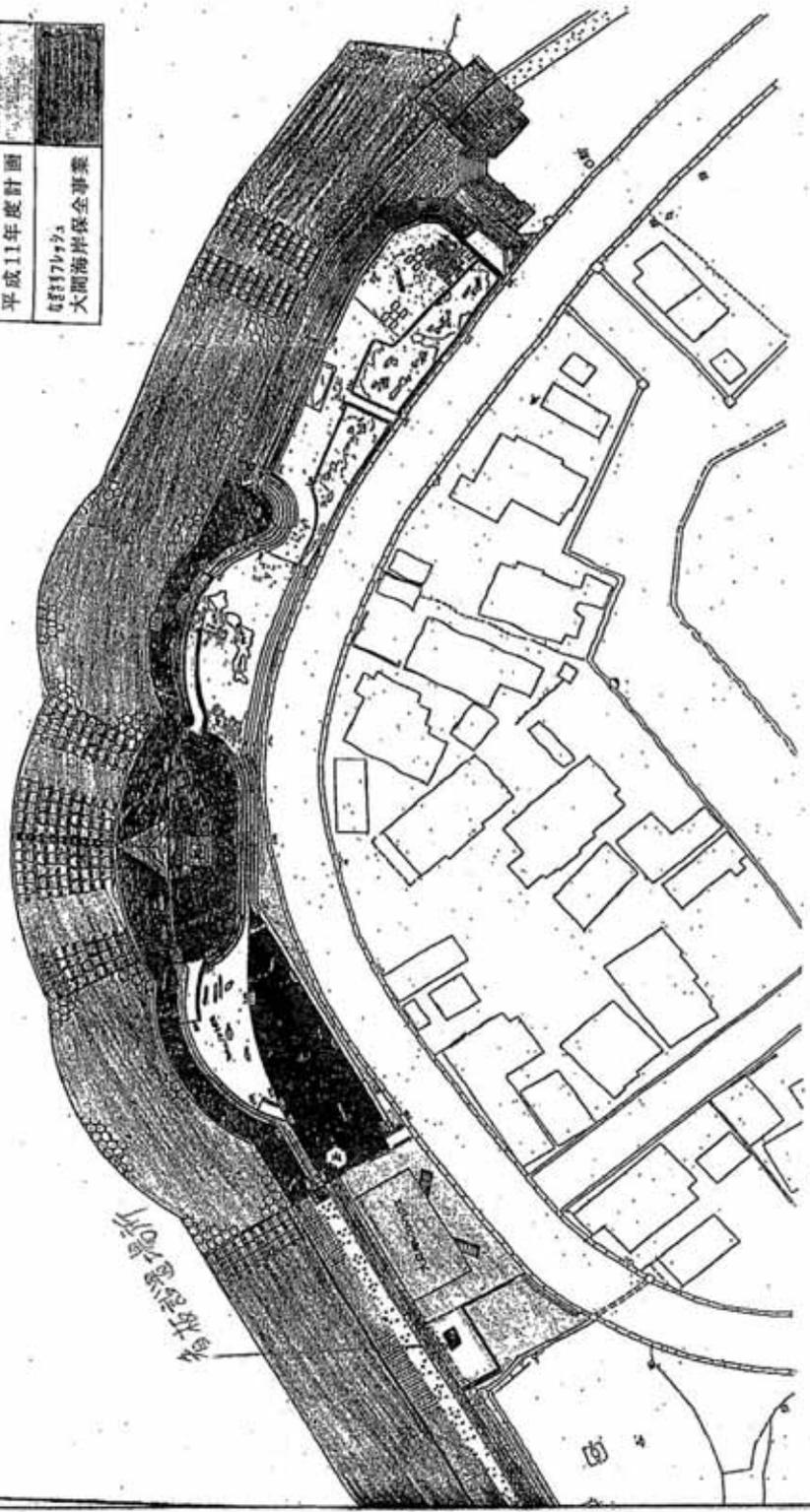
⑤-2



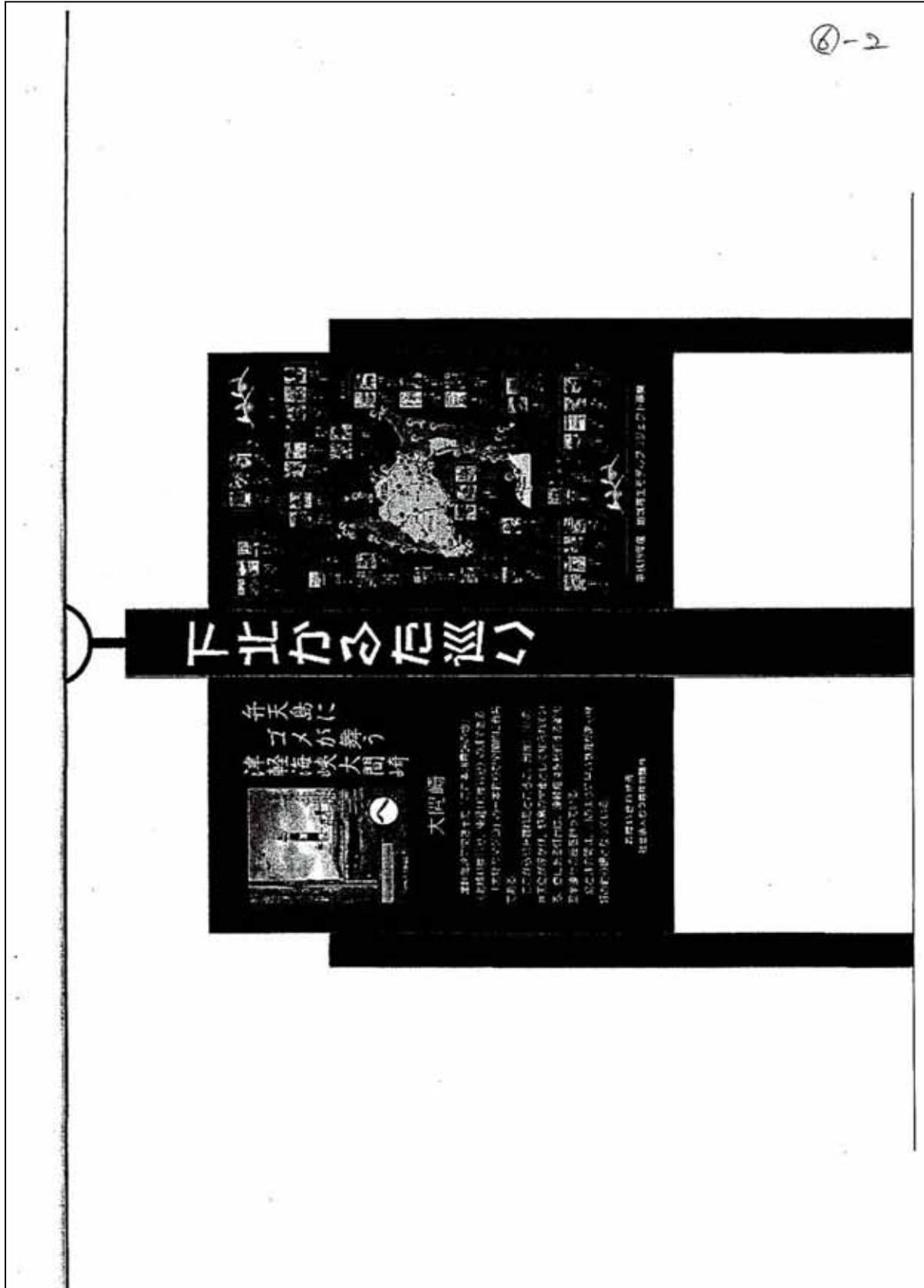
⑥-1

下北半島国定公園観光施設整備事業  
 平成10年度大間崎園地整備事業

凡	例
平成6年度施工済	[Blank]
平成7年度施工済	[Blank]
平成8年度施工済	[Blank]
平成9年度施工中	[Blank]
平成10年度	[Cross-hatched pattern]
平成11年度計画	[Dotted pattern]
建設中の 大間海岸保全事業	[Dark shaded pattern]



⑥-2





②-2

**下北を巡る**

**仙ヶ浦は  
羅漢、如来が立ち遊ぶ**



**佐野村仙ヶ浦**

仙ヶ浦は、その雄大な山並みと、静かな海が、訪れる人々の心を癒す。また、その歴史ある建物や、自然の美しさも、多くの人々を魅了している。仙ヶ浦は、まさに、羅漢、如来が立ち遊ぶ、聖地である。

仙ヶ浦の歴史は、古くからある。その歴史は、その美しい自然と、静かな海が、訪れる人々の心を癒す。また、その歴史ある建物や、自然の美しさも、多くの人々を魅了している。仙ヶ浦は、まさに、羅漢、如来が立ち遊ぶ、聖地である。

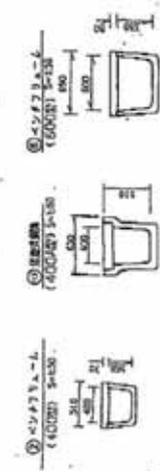
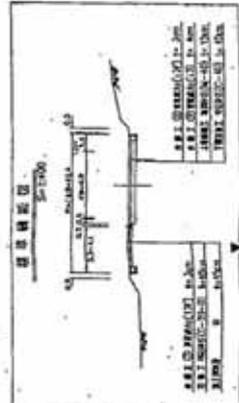
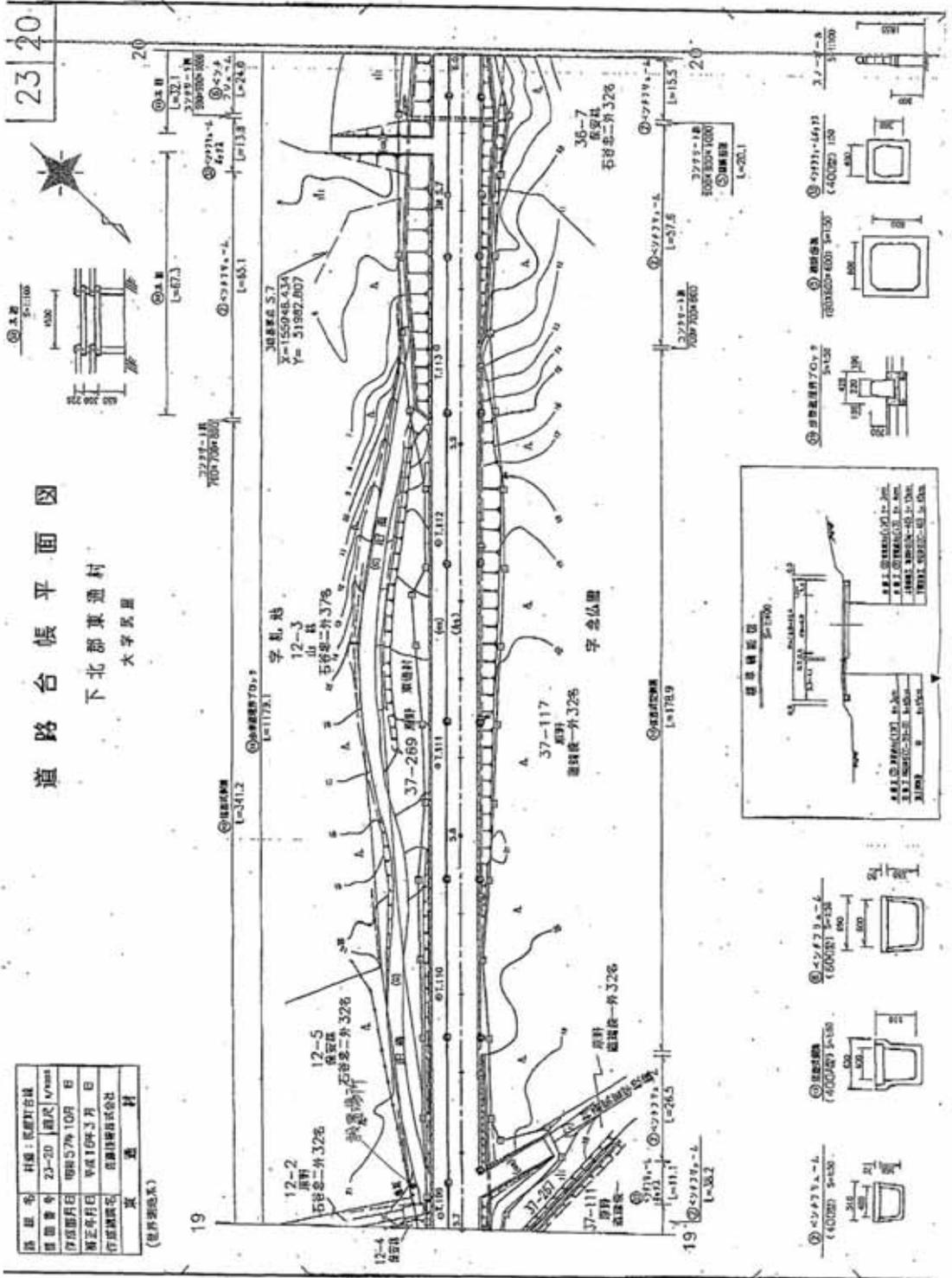


仙ヶ浦の歴史は、古くからある。その歴史は、その美しい自然と、静かな海が、訪れる人々の心を癒す。また、その歴史ある建物や、自然の美しさも、多くの人々を魅了している。仙ヶ浦は、まさに、羅漢、如来が立ち遊ぶ、聖地である。

道路台帳平面図  
 下郡東郷村  
 大字瓦屋

路線名	村道：瓦屋町台帳
標識番号	23-20 幅員 4.0m
作成年月日	昭和57年10月 日
第三次年月日	平成16年3月 日
作成図面名	瓦屋町台帳台帳
製	東 郷 村

(単位:メートル)



測量部 代 理 証 明 株式会社



# 下北からた巡り

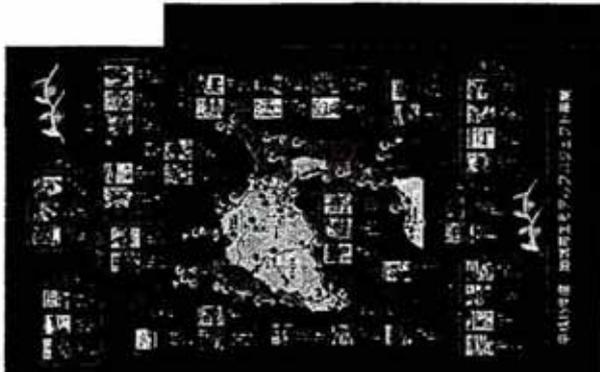
風雪に  
耐える  
岬の  
寒立馬



## 尻屋崎 寒立馬

尻屋崎の上の岬の寒立馬は、この地を走る馬の代表として、冬に雪が降り、風が吹く厳しい寒さの中、馬が立馬する姿が、地元の民に愛されています。この馬は、尻屋崎の岬に生息する馬で、冬に雪が降り、風が吹く厳しい寒さの中、馬が立馬する姿が、地元の民に愛されています。

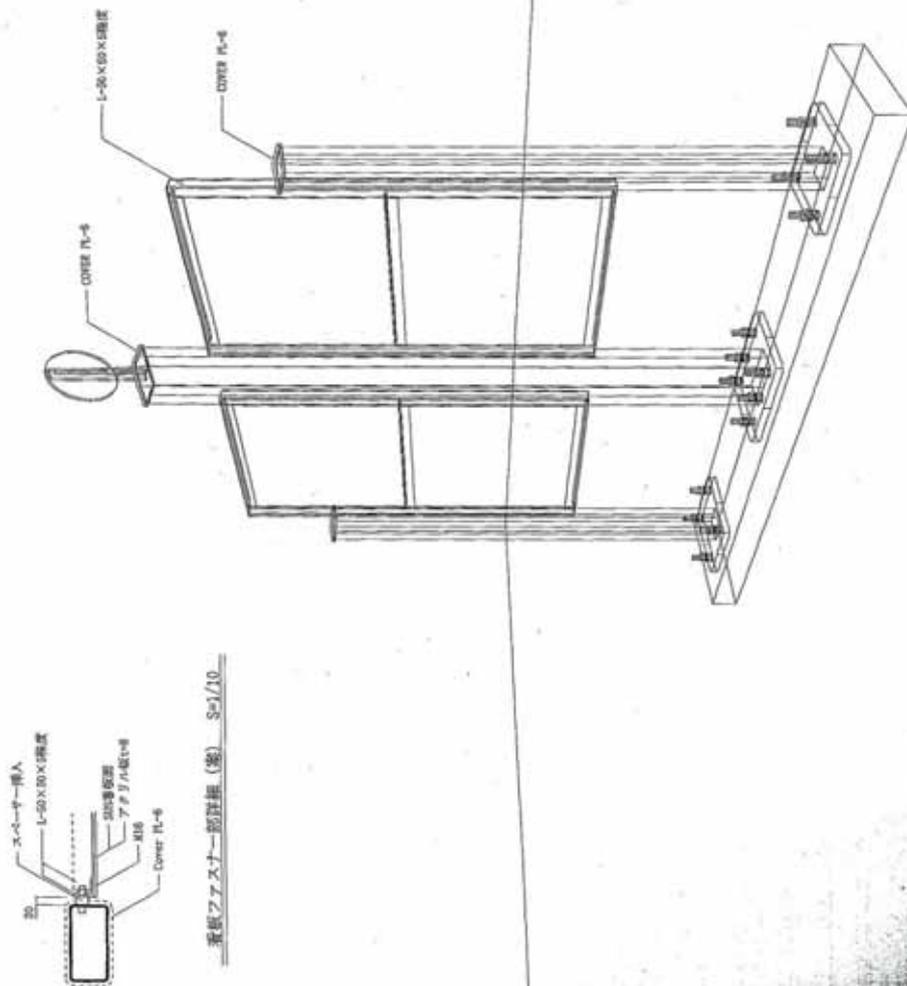
尻屋崎の岬に生息する馬で、冬に雪が降り、風が吹く厳しい寒さの中、馬が立馬する姿が、地元の民に愛されています。



中北自動車 尻屋崎岬の寒立馬

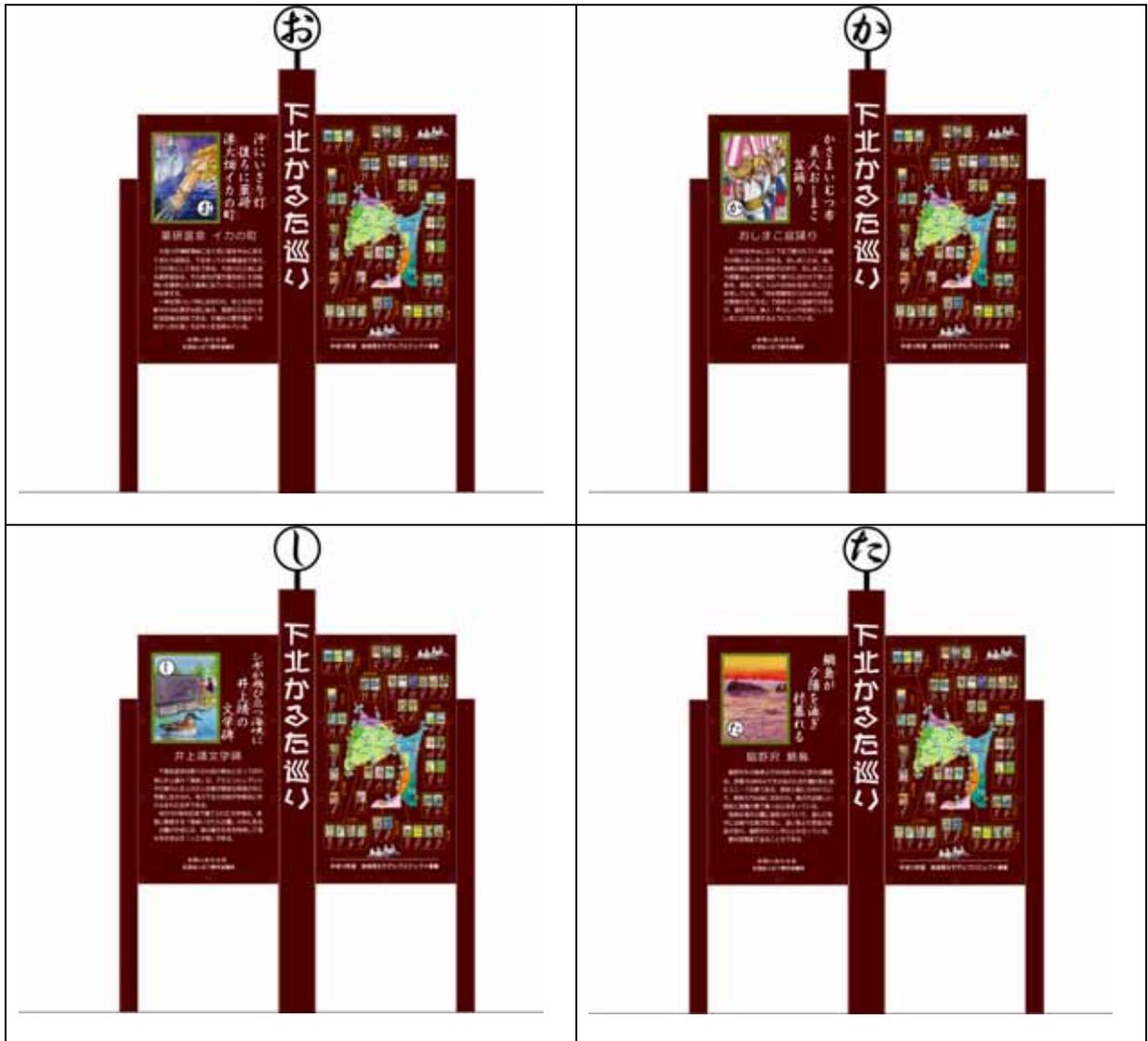


⑩

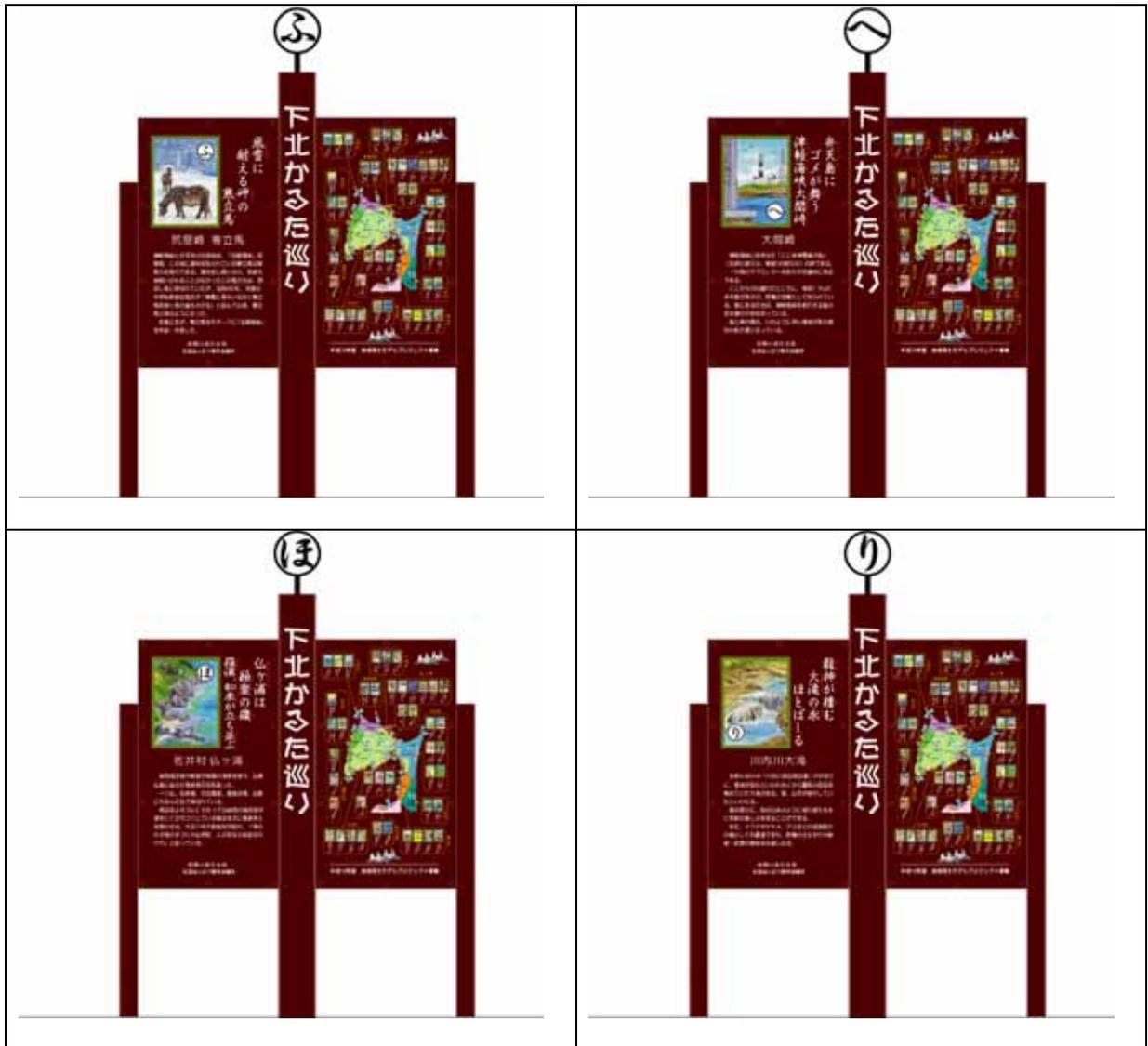


) 設置イメージ

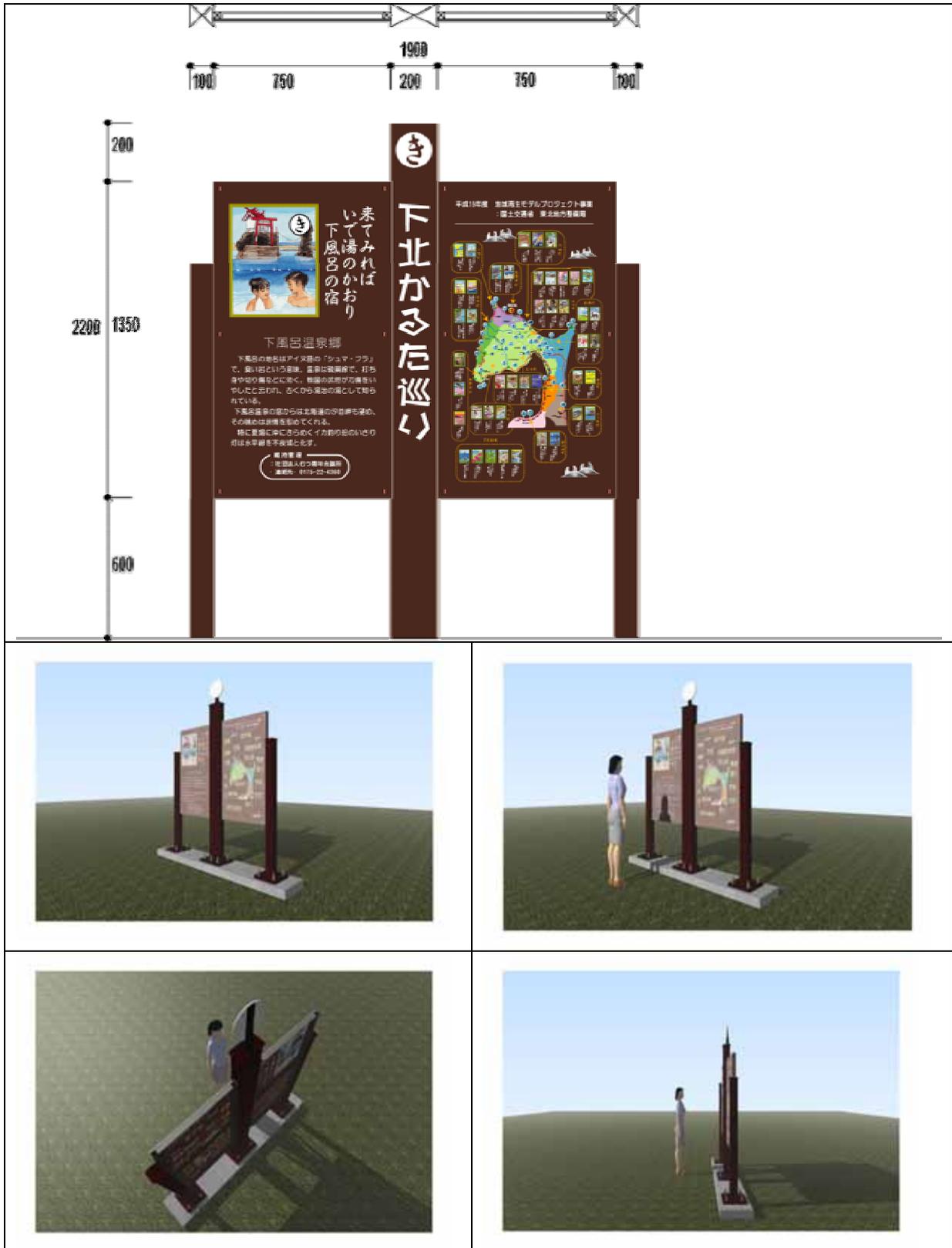
(お・か・し・た)



(ふ・へ・ほ・り)



(き)



) 実証実験

下見 1

大畑漁港「沖にいさり火…」



下見2

## 仏ヶ浦展望台「仏ヶ浦は極楽の磯…」



下見3

脇野沢 牛の首農村公園「鯛島が夕陽を泳ぎ…」



) 設置後

(井上靖文学碑；下風呂)



(尻屋崎)



(川内川大滝)



( 薬研温泉 ; 大畑漁港 )



(おしまこ盆踊り；かさい館)



(脇野沢 鯛島)



## 下北かるたラリーの実施結果

### 「下北かるたラリー」の観光資源としての可能性について

「下北かるた」の普及と観光資源として活用するために「下北かるたラリー（以下、かるたラリー）」用の看板を設置し、ラリーマップを作成した。そして、実際にかるたラリーを首都圏在住者（大学生：11名）に体験してもらい、観光という視点からかるたラリーの可能性について評価をおこなった。その結果は、下記のとおりである。

#### かるたラリー体験参加者

- ・ 法政大学社会学部（4名） 同現代福祉学部（3名）
- ・ 立正大学地球環境科学部（3名）
- ・ 高崎経済大学経済学部（1名）
- ・ 引率兼運転手2名

#### 体験ラリー実施概要

- ・ 2008年2月18日（月）9:00 スタート 18:30 ゴール
- ・ コース：プラザホテルむつ（宿泊先）～むつ来さまい館～尻屋（アタカ放牧地）～大畑漁港～（大畑・イカスミラーメン：昼食）～下風呂（井上靖記念碑）～大間崎～仏ヶ浦～川内溪谷（大滝）～鯛島（脇野沢）～プラザホテルむつ
- ・ レンタカー2台で移動

#### 質問項目

体験してもらった大学生には、下記の質問に答えてもらった。それにより、かるたラリーの観光資源としての可能性の評価をおこなった。

1. 今回の「かるたラリー」について、よかった点を具体的にお書きください。
2. 今回の「かるたラリー」について、改善点を具体的にお書きください。
3. 「かるたラリー」の観光資源としての可能性について、具体的にお書きください。
4. 「かるたラリー」の今後の展開として、半日コースや1日コース、季節毎のコースなどを考えています。なにか良いアイデアがありましたらお書きください。
5. 今後のラリーマップは有料販売にして、お土産や食事に使えるクーポン券の様なものを付けたいと考えています。有料販売となったマップを利用しますか？また、利用したいと思わせる工夫があればお書きください。
6. その他、「かるたラリー」について何かありましたらお書きください。

以下、質問項目に従って、検討する。

質問1 今回の「かるたラリー」について、よかった点を具体的にお書きください

- ・ 自分でガイドブックなどで調べなくても、ラリーによって下北の名所がわかる。
- ・ 下北半島の広さを実感できた。
- ・ 下北の自然や寒さを直に体感出来た事です。ガイドブックなんかで見ると、とても自然に近くて広い土地だなと思いました。
- ・ 看板によってその場所を詳しく知りながら、下北半島の名所を周る事ができたこと
- ・ 下北かるたをなぞりながらなのですでに知っている人には『あの札の場所かぁ』と楽しみながら回れる
- ・ 下北半島の観光スポットが一目で分かり、旅行者の手助けとなるものであった。
- ・ 下北の観光地にどんな所があるのか知ることができました。
- ・ 下北の観光スポットを網羅できた
- ・ 『下北かるた』にある場所実際にいけたという点ではよかったです。「かるたラリー」によって、下北地域を広範囲に見ることができました。
- ・ かるたラリーを行うことで下北かるたを知り下北半島についての知識が身につく。
- ・ ラリーマップの裏面でかるたの札が一覧できるのは下北かるたを理解する上で効果的だと感じた。半島内全てをフィールドとしたラリーはおもしろい。
- ・ かるたの絵と実際の景色が同じであったこと。
- ・ 景色が美しかったこと。(個人的には尻屋崎と鯛島が良かった。)
- ・ 下北半島を一周したという達成感があること。

かるたラリーの評価については、下北の名所が一通りわかること、下北半島の大きさを体感できるなど、好評であったといえる。また、「下北かるた」の内容を知っているため、より理解が深まったものと思われる。

質問2 今回の「かるたラリー」について、改善点を具体的にお書きください。

- ・ あの環境(沿道にも特に何も無い、ポイント間の移動距離が長い)でトイレが閉鎖しているのはいただけない。
- ・ 車酔いをしやすい人にとっては楽しめない。
- ・ 道路などにも下北かるたを実感できる素材が所々ないと楽しめない。
- ・ 食事もラリーの一環にできるとなおよい。
- ・ 移動時間が長い。
- ・ まだ数が少ないというのももちろんありますが、やはり一つ一つが離れすぎだと思います。
- ・ また山道を結構通ったので、観光客には行きづらい場所もあるのではないかと感じました。
- ・ 名所に行ってもその看板しかない寂しいのでお土産屋さんなどがあると観光客としてはありがたい
- ・ 行った事が証明出来たり思い出に残るように、スタンプを押せるなどの工夫がほしい
- ・ 今回は車で回ることができたが、やはり交通には問題があると感じた。いざ自分たちで回るとしたら困ると思う。周遊バスを運行するなどの改善が必要ではないだろうか。
- ・ 大畑漁港や仏ヶ浦などを下北の観光スポットとしてあげることはできますが、そこで何をやるのか、または何ができるのかという疑問が生じました。
- ・ 札を立てている事をもっとアピールしてほしい
- ・ 広域地図だけで「かるたラリー」を行うのは難しいと思います。

- ・ ラリーするのにおいて各地への移動が大変である。特に仏が浦や龍神の滝への道は冬は特に険しく雪道に慣れていない人のために道路整備をする必要がある
- ・ かるたラリーを巡っても利益がない。巡るための足が乏しい。大畑漁港の設置場所が分かりにくい。冬期は全制覇できない。今後、設置数が増加した場合、設置地点の拡大図を載せるスペースが必要。大まかなバス停の表示が地図上にあると良いのでは。
- ・ 各ポイントにおいて飲食店や土産物屋がもっと充実していた方が良い。せっかく到達しても少し寂しいという印象があった。その静けさを生かす・残すとしても、もう少し観光客が楽しめる工夫が必要であると思う。また、かるたを覚えていない、存在を知っているだけの観光客にとっては、かるたのポイントに行くことの喜びや楽しみを感じることができのかが疑問である。そのため、「かるたラリー」という名称をアレンジし、下北 100 景めぐり、美食めぐり、半島を網羅できる（一日で、(半日で)下北が全部わかる!）といったような、「かるたに取り上げられた場所」以外の価値があるというニュアンスを取り入れてはどうであろうか。「かるたラリー」という響きだけでは何のためにラリーするのかよく分からない。スタンプラリーのようにありきたりで、魅力を感じない。「かるたに取り上げられた場所」以外にどのような価値を見出すかは、今後の下北ブランド展開の趣向に依存すると思うので、単に店を増やすなどの対策が適しているのかは分からないが、今のままで、かるたのためだけにかかなりの距離を回ることは面白みにかける。「かるたで知る下北の絶景」「かるたラリー～下北のうまいものめぐり」「かるたで行く！寒立馬に出会う、綺麗な海と（ホタテ？）静かな夜景」...など、かるたラリーによって何が分かるのか、できるのか、を明確に PR する必要があると思う。名前を変えるだけでも趣旨が様々に展開できると思う。

改善点として多かったのが、ラリーをする際の移動手段の問題である。「車酔い」「観光客には行きづらい」「自分たちで回ろうとしたら困る」などがあげられた。また、冬場のレンタカーなどでの移動には疑問の声もあった。

次に、設備や施設の問題点が挙げられる。冬季閉鎖のトイレが多かったこともその要因であるが、「土産物屋が看板の周りがないと寂しい」など、せっかく回ったのだからその到達感がほしいという意見が見られた。スタンプラリーにするとよいとの提案もあった。

また、単に「ラリー」といってもその目的がわからないという意見もあった。ポイント間の距離の遠さもあり、テーマを設けた方が回りやすいし PR につながるといった意見が出された。

質問3 「かるたラリー」の観光資源としての可能性について、具体的にお書きください。

- ・ 認知度を高めれば下北を効率良く回るための有効な手段となりうると思う。例えば観光ガイド(るるぶ等)誌上で紹介してもらおうなど。
- ・ 食事もラリーの一環にできるとよい。
- ・ 移動中も楽しめる何か欲しい。(BGMなど?)
- ・ 目的地に行って見て、ハイ終了だとさみしいので、その場所に精通している人の話を下北案内人として、少しの間でも聞ければ良いと思う。(5分くらい...)
- ・ かるたラリーは観光資源というよりはまず地元の子供達に活用してもらった方が良いように思います。
- ・ 来た人にとっては観光資源になりますが、人を呼ぶための観光資源として活用するにはかなり大々的なPR活動が必要だと感じました。
- ・ 質問2のように(お土産物屋・スタンプなど)改善されると観光資源としての可能性があるのではないかと思います
- ・ 下北地域に住んでいるなど普段から下北カルタに親しんでいる方には十分、観光資源となるだろうが、それ以外の人たちには難しいかもしれない。
- ・ 今回は地元民でいらっしゃる宇野さんが解説付きで案内してくださったのでより下北について知れましたが、初めて訪れる人たちだけでカルタラリーをしてどこまで楽しめるのかわかりません。カルタラリーで全ヶ所回るのもいいと思いますが、テーマ毎にわけたラリーにしても良いと思います。(例えば、文豪や映画監督など著名人を訪ねるコースなど)
- ・ 札がある場所いけば下北の観光地を回れるようになってるのでそれを観光客が周知していれば気軽に訪れる事ができ、観光の活性化につながる可能性がある
- ・ 『下北かるた』は観光地を網羅しています。また、観光地を説明するものとしての機能も持っています。私は「かるたラリー」をするためだけに、下北半島まで行かないと思います。しかし、下北半島に行ったとしたら観光の付随的なものとして「かるたラリー」を行うかもしれません。なぜなら、「かるたラリー」の看板が今後設置されると思われる場所は観光地に隣接しているところが多いからです。
- ・ 「かるたラリー」の付加価値を明らかにすることができれば、観光資源としての可能性はあると思います。
- ・ 現時点では看板もすべて建ておらず、自分から下北を知りたいと思う人意外は興味を示すのか疑問である。しかし誰もが回りやすい環境をつくれれば気軽に寄ってくれる可能性があると思う。
- ・ やはり、ラリーといえはスタンプがあると到達した証明になり、終わってから楽しめるので欲しい。何ヶ所か制覇することで何か特典があるとラリーをしたいと思う。
- ・ 質問2と同じ。ラリーすることによる「良いこと」を増やす、押し出すことで、十分楽しい半島めぐりになりうると思う。

観光資源の可能性として、食事との組み合わせ、スタンプラリー、テーマ設定などの必要性があるとの指摘があった。また、積極的なPRが不可欠との意見もあった。

また、ただ回るだけではなく、地元の人とのふれあいや説明など、何かしらの地元との交流が含まれた方がいいという意見や、かるたラリーの付加価値を高める必要があるとの意見が見られた。

質問4 「かるたラリー」の今後の展開として、半日コースや1日コース、季節毎のコースなどを考えています。なにか良いアイデアがありましたらお書きください。

- ・ とりあえず、冬道での1日強行ツアーは厳しいものがある。
- ・ 全土をいっきにまわるよりも、何パターンか用意して、選べて体験も出来るとなおよいと思う。
- ・ 時間がない人にとっては、半日コースもよいと思うが、1日コースでは、日没の時間を配慮して、仏ヶ浦で夕日を見られるように廻るとか、季節によって計算してラリーを組めば良いと思う。
- ・ 目的地それぞれ季節や時間によって違う顔を持っていると思うので、それを考慮した上で、目的地が一番美しく見られる時間を選んでラリーを製作すれば良いと思う。という事で、時間を指定してオススメのコースを提案する形でかるたマップを作ればよいと思う。
- ・ かるたを美味しい名所や大自然に触れられる名所などの分類に分け、そのテーマにそったコース
- ・ スタンプを設置し、スタンプラリーの要素を導入する。
- ・ スタンプラリー形式にして、集めた個数により地元ならではのお土産品(ヨーグルトやホタテの貝柱、ヒバ製品など)を景品としてもらえるという特典をつけても良いと思いました。
- ・ 冬だからこそかんだちめが面白く、夏だからこそ大畑のイカがうまいなど季節性があるが、季節ごとに場所の表情が違うのがまた面白いわけで、特にないです
- ・ 既存の定期観光バスに「かるたラリー」を組み込み、定期観光バスに乗ると必然的に「かるたラリー」の一部になるようにしてはどうでしょうか。「かるたラリー」が定期観光バスのツアー名として時刻表にも掲載されれば、一定のPR効果が見込まれるのではないのでしょうか。
- ・ また、「かるたラリー」のための「フリーエリア券」などを設定し、エリア内の指定された温泉であれば入湯が無料になるなどといった企画はどうでしょうか。
- ・ 他に観光の分類として、下北かるたの中で特産品巡り、絶景巡りなど分類してやれたら観光客側も自分の好きな分野について下北を知ってもらえるのではないのでしょうか
  - コース 全制覇 いろは順、その逆も
  - コース 冬期は行けない或いは行きにくい地点のみ周遊(夏期)
  - コース 例えば、3・5・10などの様にある一定の数字の数だけ巡る(一日や半日でも廻れる。逆に二、三日かけて廻ることもできる。)
  - コース 下北ゆかりの人物、自然、文化・芸能等のテーマを決め、それに関する所を巡る。
  - コース 海岸沿いのみ、大間と尻屋の両岬周辺のみなどの地理的特徴を利用
- ・ コースことに有効期限を付けるのもいいのでは(例:全制覇コースは1年以内に制覇しなくてはならない)
- ・ 一日は少し長いですが、朝から夕焼けまで堪能できるという点で時間を有効に活用できれば、一日使う価値がある。問題は移動中に飽きないかどうかと回るポイントの数ではないか。
  - (1)ポイントに季節ごとに何か変わっていくものを設置する。
  - (2)夕焼けが綺麗に見えるスポットの紹介は魅力的。Ex) 昼から夕焼けの半日コース...
  - (3)かるたの札に沿ったお土産をつくる。Ex) 鯛島を見ながら鯛焼きを食べる・全種類コンプリートしたくなるようなもの。

今回の体験は、日程の都合もあり1日で全てのポイントを回る強行軍であったため、ラリーコースについていくつかのパターンを用意すべきとの意見が見られた。また、季節ごとのおすすめコースなどの設定もあって良いのではないかという意見もあった。

スタンプラリーにして、回った箇所に応じた記念品をプレゼントしたらどうか、定期観光バス  
のコースに組み入れたらどうか、フリー券を作って温泉入浴が無料になる、といったかるた  
ラリーの付加価値付けの提案が見られた。

質問5 今後のラリーマップは有料販売にして、お土産や食事に見えるクーポン券の様なもの  
を付けたいと考えています。有料販売となったマップを利用しますか？また、利用したいと思  
わせる工夫があればお書きください。

- ・ 値段によるが、有料なら買わないかもしれない。
- ・ 実際レンタカーでなければラリーは厳しい気がするから、レンタカー利用者はマップ割引  
などとすれば良いかもしれない。
- ・ クーポンのアイデアは良いと思う。
- ・ 有料でも高くなければ利用します。
- ・ 私が観光客ならば買ってまでは利用しないと思います。クーポンがついていなくてもお店  
を知らないの、紹介だけでも利用すると思います。
- ・ きつい言い方になりますがクーポン券ならばフリーペーパーにすらついているので目新し  
さがないかもしれません。それならば何か下北名物の品物をつけた方がこのマップを利用す  
るかもしれません。
- ・ マップ自体はカラフルでとても楽しいものでした。
- ・ 今は市販のガイドブックが詳しく説明してあるので、それで済ませてしまうかもしれない。  
この現状を考えると、かなりのおまけ要素を加えないと購入にいたらないと思う。
- ・ 今回いただいた JC のマップは下北半島がどういう街で構成されているのかがわかりやす  
く示されていたので、下北にいる間中役に立ちました。また裏にかかるたの読み札・絵札・解  
説が掲載されていたので、下北をよく知りたい人には最高だと思いました。現在は8ヶ所し  
か札が立っていないので8ヶ所の細かい地図を載せたとしても今のサイズで収まっています  
が、44ヶ所に札を立てたらパンフレットのように本にしなないと収まりきらなくなるのではな  
いでしょうか。有料化するのであれば、下北かるたラリーマップの情報だけ載せるのではな  
く、「下北半島旅ガイド」並みの情報を掲載して、下北半島にいる間使えるハンドブックの  
ようなものにした方が観光客は手に取るのではないかと思います。かるたマップ以外の情報  
量を増やし、そこに付加価値をつければ、有料でも観光客はマップに手を伸ばしてくれるの  
ではないでしょうか。
- ・ 有料販売なら買わない。広告を打つという概念でクーポンをいれればよい。有料販売とか  
ケチくさい事いってたら更に人がいなくなる気がする
- ・ 有料になった場合、マップの情報量により購入を検討します。有料の場合 300 円程度まで  
ならば、購入を考えます。仮に、高額だったとしてもそれだけの価値が見込まれれば購入し  
ます。
- ・ 値段にもよりますがせめて 500 円以内で収まるなら考えます。ただ、それと別に無料のラ  
リーマップを各観光施設などに設置、配布するのもいいと思います。
- ・ お得感がないと利用したいとは思わない。 マップ料金<クーポン券の総割引額であれば  
利用したい。クーポン券を利用するにしても、わざわざ利用するために遠くへは行きたいと  
は思わない。
- ・ 青森市内（アスパム・青森駅・青森空港等）や首都圏（羽田空港・東京駅・下北沢・新幹  
線車販等）での販売はどうか。
- ・ ドライブのチェックスポット
- ・ 良い場所が選定されているという認知度があれば、ラリーしなくとも、一箇所だけでも近  
くにいい場所があるらしいから寄ってみるかということにも使える。単なる観光マップより

面白いと思って買うかも知れない。マップの利用法を多用に、明確にすべき。

ラリーマップの有料化については賛否両論あることが分かった。有料化賛成の意見としては、それなりの「お得感」があればよいとするものが多かった。値段の幅も 300 円以内、500 円以内などといった範囲で提案が見られた。

一方、有料化に否定的な意見では、「けちくさい」、フリーペーパーにすらクーポンがついている、というような意見が出た。都内を中心にフリーペーパーが出回っている事を考えると、難しい点と思われる。「広告」と思ってクーポンをつければよい、クーポンより「下北の名産」をつけたほうがよい、という提案もあった。

いずれにせよ、クーポンを使いやすい環境を作る（店の位置が分かる、お得感がある、他のガイドブックにはない付加価値）必要があるといえる。

質問 6 その他、「かるたラリー」について何かありましたらお書きください。

- ・ せっくなのでダイヤモンドの蝶が見たかった。（「ら」の札）
- ・ 違う話になるが、観光客向けだけでなく、小学生向けにも行えば良いと思う。あれだけ小学生が熱を入れてかるた大会に参加しているのだから、総合学習の一環として、小学生向けにもラリーを考えてみてはどうでしょうか？若年層の、まちづくりに対する意識向上に繋がると思う。
- ・ 小学生があれだけ本気になって自分の郷土な事を知ろうとしていることは、貴重な事だと思う。この中から、次世代の下北を担う人達が出てくれば、持続可能なまちづくりになるのではないかと。
- ・ あと、個人的に道の駅を廻りたかった。
- ・ 下北カルタを予め勉強していた私たちにとっては、楽しいものであったが、実際、何も知らない一般の観光客にはピンと来ないものになるのではないだろうか。下北を訪れた人たちに下北カルタに親しみを抱いてもらうことが今後のキーポイントになると思う。
- ・ スタンプをおいて全部回ったら札がある市町村の特産物をプレゼントすればよい。
- ・ またスタンプ交換する場所によって土産を変えても面白いかもしれない
- ・ 例えば大間でコンプリートしたならマグロ T シャツであったり、東通でコンプリートしたならかんだちめストラップなど
- ・ 「かるたラリー」を行い、例えば全 44 ヶ所を周ると、プレゼントなどはあるのでしょうか。何らかのインセンティブがないと、観光地に隣接している数ヶ所くらいしか、私は行かないと思う。
- ・ また、チェックポイントに到達したことを証明するもの、例えばスタンプの設置など、は検討しているのでしょうか。
- ・ かるたラリー自体はいい案だと思います。他にいくつかの看板を回り写真を撮れば景品が出るなどの特典があってもいいと思いました。
- ・ 今後、ラリーマップにクーポン券等が付き、巨大化した際の折り畳み方として『三浦折り』を活用してはどうか。
- ・ 全部あるいは 3 箇所以上回ると何か良いことがあるといったオプションをつけてはどうでしょうか。

ここでは、様々な意見が寄せられた。興味深いのは、地域学習にとりいれてはどうかというものである。下北かるた大会と連動しての企画化も一つの活用方法と感じる。

また、「下北かるた」の認知度を上げないと、ラリーに結びつきにくいのではとの意見も出された。

ラリー完走者への記念品を、交換場所を変えたら面白いとの提案もあった。ラリーのリピーター創出のため考慮すべき点といえよう。

下北かるたラリーの可能性について

上記、意見をまとめると、下記のようなことがいえる。

かるたラリーは下北地域の名所・名物を知る上で、興味深い  
冬季においては、トイレや土産物屋などの面に対応が必要  
ラリー完走者には記念品が贈られるなど、かるたラリーをおこなうための動機付けが必要。  
ラリーマップの有料化には賛否両論がある。いかに魅力的なものにするかが、有料化のカギ。

リピーター創出のため、季節毎のルート設定、記念品の変更など工夫が必要。

以上

## 2) 新しい観光資料(DVD下北かるた)の購入

### 実施計画

#### ) 実施体制

主催：むつ青年会議所 担当者：千葉 博之(理事長)

青森県(下北地域県民局地域連携部地域支援室) 担当者：富谷 正行

国土交通省東北地方整備局

#### ) 実施目的

- 地域の自然・文化・歴史等の地域資源が集約されている44枚の「下北かるた」を活用した地域活性化へむけて、印刷物(文字、画像)と比較して、臨場感が得られやすいという映像資料の特性を活かした新しい観光資料(DVD下北かるた)を購入し、アンケート等を通じた有効性を把握する。

#### ) 実施方法・内容(案)

新しい観光資料(DVD下北かるた)の購入

- 新しい観光資料(DVD下北かるた、100部)を購入する。(2月21日までに、DVDのデータは完成させる必要がある)

新しい観光資料(DVD下北かるた)の有効性調査

- 新しい観光資料(DVD下北かるた、100部)を配布し、その有効性をアンケート等で調査する。

#### ) 調査&配布対象

- シンポジウム用(首都圏)50部
- その他 50部(学校配布など)

#### ) 実施スケジュール(案)

1月26日(土曜日) 第1回全体会議(各種準備・1週間)

2月初旬(4日の週) 新しい観光資料(DVD下北かるた)(枠組)確定  
DVD(平成19年度)作成開始

2月17日(日曜日) DVD(平成19年度)データ完成

2月18~20日 「下北かるた体験ツアー」:首都圏大学生参加 DVD上映

2月22日(金曜日) 発表会(シンポ):下北 DVD上映、アンケ200部配布  
(仮)「いくべし下北」発表会

下北地域魅力再発見セミナー開催

3月16日~ 発表会(シンポ):首都圏 DVD上映、アンケ・DVD50部配布

(仮)「いくべし下北」発表会

2月下旬~3月上旬 アンケート回収・分析(配布から半月程度)

3月下旬 成果とりまとめ

#### ) その他

広報・案内

- シンポジウム(下北、首都圏)参加者への案内
- 学校への案内
- 「下北かるた体験ツアー」参加者(首都圏大学生)への案内
- その他(旅行代理店等の観光関係者、マスコミ関係者、企業・団体、観光施設等)  
必要作業と担当者
- 企画
- DVD下北かるたの購入
- 新しい観光資料(DVD下北かるた)の有効性調査
- アンケート実施(票作成、配布・回収、入力・分析)
- 成果品のとりまとめ

「下北かるた」DVD版の可能性について

「下北かるた」の普及と観光情報の発信を目的に「下北かるた」DVD版（以下、DVD）を作成した。その試作版を首都圏在住者（大学生）にみてもらい、観光という視点からDVDの可能性について評価をおこなった。その結果は、下記のとおりである。

DVD全体の評価

- ・映像の強みであるリアリティが体感できる
- ・「かるた」だけでは想起できない情報が入っている
- ・44枚の札を使って下北を丁寧に紹介している。このため、この状態で残しておく価値はある。

DVDの内容自体は、下北半島の魅力を丁寧に紹介しているものであり、「資料」としては価値のあるものとの評価が得られた。しかしながら、下記のような点も指摘された。

DVDをみて気になった点

1) DVDのタイトルがない

- ・再生するといきなり「あ」札の説明が入る
- ・このDVDがなんなのかわからない

2) 構成について

- ・ナレーションが単調
- ・項目ごとの構成が同じ
- ・30分間集中してみることが困難、「飽き」てくる

3) 映像について

- ・感性の問題だが、こちらに訴えてくる力が弱いと感じた
- ・単調に感じられた
- ・ズーム映像が少ないせいか、迫力がなく、心をわしづかみにされない

丁寧に紹介しているとの評価の一方で、説明不足・変化に乏しい・単調・飽きてくるなどの課題が指摘された。これらの改善に向けて下記のような意見が出された。

DVDを魅力的に見せるための改良点

### 1) DVDの最初にタイトルを入れる

- ・DVDの趣旨がわかるタイトルを入れる  
(例)「かるたで巡る、旅情あふれる下北の旅」など

### 2) 構成の見直し

- ・この地域がどのような場所なのかわかる映像を1～2分でまとめる  
地理的状況や景観・文化を紹介することで、下北の特徴がつかめやすくなるため
- ・五十音順の紹介を見直す  
テーマに応じた札の紹介にして構成にメリハリをつける  
「い」の下北観光の概要から始まり、「な」の季節の風景や「も」の伝統行事など。  
決してあいうえお順でなくてもかまわない

### 3) 画像について

- ・画像切り替えを工夫する  
詠み札に対応するかるたを手でめくった際に、解説映像を写しだす、というような感じ  
札から札への展開に際してメリハリがつくように編集する
- ・映像アングルの工夫  
事物に直近させ、人(住民)を多数映像にいれると「行ってみたい」と思う

### 4) 代替ナレーションの収録

- ・下北弁のナレーション(字幕つき)  
ナレーションの変更  
例えば、下北弁の解説にすると親しみがあっていいのではないか(いな かつぺい風?)  
DVDの音声設定で選択できるようにするとよい  
ラップ調(DJ風)やミュージカル風などもあったら面白いのではないか

上記のような改良点があげられた。これらをまとめると下記のようなになる。

#### 改良点

タイトルをいれる = DVDの狙いをはっきりさせる  
五十音順の見直し = 構成にメリハリをつける  
画像の切り替えの工夫  
ズーム映像の使用  
代替ナレーションの収録 = 下北弁で特徴づけを

また、下記のような意見が得られたので、掲載しておく。

- ・ 下北かるたは観光名所と下北の知識の項目が混じっている
- ・ 「に」札のように知識を得れば済むものがあるので、44ヶ所すべてを回る好奇心に駆られない
- ・ 逆に季節限定の「え」札の能舞や「ゆ」札の田名部祭りの様子はDVDの映像で「行ってみたい」という気持ちになった
- ・ 現在おこなわれている活気のある行事は、魅力的であり観光に強いと考える
- ・ 「きらきらみちのく下北号」車内で流しても良いのではないか
- ・ かるたの読み手の代わりに使うことができないか
- ・ ネット配信ができると良いのではないか
- ・ DVDの効果的な活用方法を考える必要がある

「下北かるた」DVDは、DVDの特性を活かした活用方法があり、編集に工夫することで、より魅力的な情報発信手段となるといえる。しかしながら、その発信方法は多様なチャネルを使用して広めていく必要があると思われる。ナレーション一つとっても、「下北弁」など他地域に向けて話題性に富んだものを使うことによって、発信能力は飛躍的に高まるといえる。